



ライオンズクラブ国際協会

Vol.1

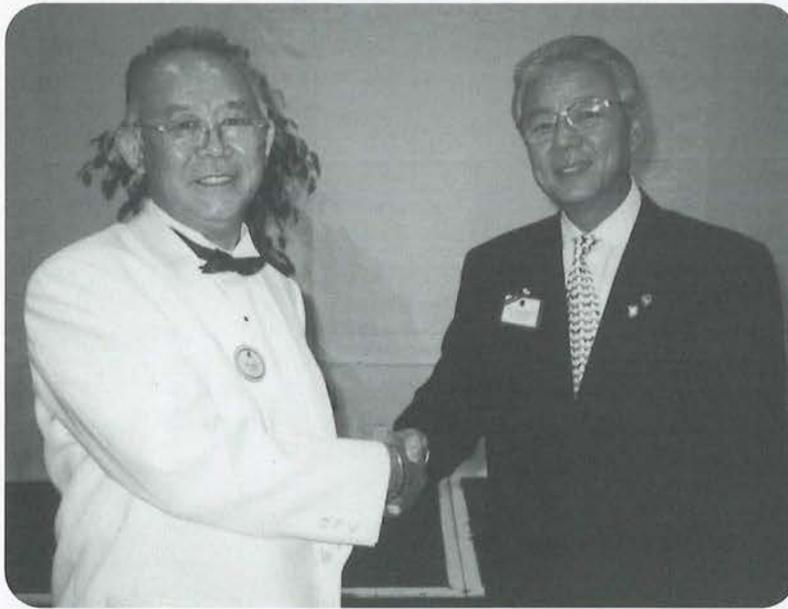
333-C 地区ニュース

発行

1998～1999 年度

地区PR情報委員会

地区ニュース編集委員



ハバナナンダ国際会長と笹本瞭ガバナー



ライオンズクラブ国際協会
333-C 地区ガバナー

L. 笹本 瞭 (市川東LC)

ガバナースローガン

高めよう

愛と知性と心で奉仕

【ご挨拶】

1998年7月1日、イギリス・バーミンガムに世界のライオンが一堂に会して第81回国際大会が開催されました。われらがライオンズクラブならではの盛会で、いまさらのようにこの巨大組織の力に感銘を受けました。

7月3日の閉会式に於いて世界181カ国765名のガバナーエレクトが一斉に決意新たにガバナーとしての宣誓を行い、私はK.K.ハバナナンダ国際会長より333-C地区第45代ガバナーに任命されました。身に余る光栄に浴し感激一入でありましたが、同時にその責任の重大さに身の引き締まる思いでいっぱいでした。

歴代ガバナー、諸先輩Lにより築かれた333-C地区の輝かしい歴史と伝統を継承し、責務の遂行に最善を尽くすことが私の使命と心得ております。

地区運営につきましてはガバナースローガンを『高めよう愛と知性と心で奉仕』と提唱させていただき、今日まで歴代ガバナーによって培われた大いなる遺産のすべてを継承し、教えを無にすることなく、運営目標に邁進する所存であります。絶大なるご支援ご協力の上ご指導の程お願い申し上げます。



ハバナナンダ国際会長夫妻と笹本ガバナー夫妻

【国際会長の年間テーマ】

K.K.ハバナナンダ国際会長の今期テーマは「ハーモニー」。3つの『ハーモニー』を提唱され、その大切さを説かれました。

- ◎クラブ、地区、国際協会レベルで「ハーモニー」(和)を維持する。
- ◎他の団体との奉仕を通じた「ハーモニー」(協力強調関係)を創造する。
- ◎会員間の「ハーモニアス」(調和に満ちた)な友情を促進する。

そしてこの3つの「ハーモニー」をバランスさせることも強調され、重点目標として4つの『キーワード』を掲げられました。

- ☆高い品性(クオリティー)ある人々のみクラブへ招請する。
- ☆地域、国際レベルで、好ましいライオンズの「イメージ」を創り出す。
- ☆ライオニズムがライオンズクラブの「ベーシック」

(基本)であることを忘れてはならない。

☆可能な場合はいつも「ファミリー」(家族)の意識で接すること。

これらの4つのキーワードの実践に私たちが努めたならば、世界で最も大きな奉仕団体の正道に立つことが出来ると国際会長は指導されております。

「格調高いハーモニー」を築かれることを、切に願っています。

さらに、国際会長は私たち個々の会員に対してライオンとしての目標と使命を果たすために次のことに『フォーカス』(焦点)をあわせることが大切であると説かれました。

- | | |
|--------------------------------|-----------------|
| F・・・ Fellowship | 友情 |
| O・・・ Opportunity | 機会 |
| C・・・ Change-Care-Communication | 変化-関心-コミュニケーション |
| U・・・ Understanding | 理解 |
| S・・・ Service | 奉仕 |

【ガバナー方針（運営目標）】

1. 既存クラブの充実

会員数の減少などこれまでにない事態に直面した現在、私たちが取り組まなければならないことはLC流「リストラ」(再構築)です。企業におけるリストラというとただ人員削減、支出のカットという印象がありますが、LC流リストラでは既存クラブの充実のための再構築をお願いしたいと考えます。

1. LCのイメージを大切にしながらクラブ運営の簡素化を図る。
2. 建設的な議論を闘わせながらも紳士的に会員相互の友情を強く保つ。
3. 新入会員育成のためのケアとオリエンテーションに積極的に取り組む
4. 退会防止に努力する

元国際会長L. 村上薫は1966年のガバナー就任演説の中で『古いクラブの老化現象を防ぎ、新クラブが正しいライオンズを理解し、地域社会に必要な不可欠な存在になるよう努力を重ねたい』と30数年前にご指導されていました。

最近の会員数の減少は、確かに政情の不安定さや経済の低迷の影響と言えますが、これまで組織の拡大にウエートを置きすぎて、既存のクラブや在籍会員の活性化が疎かにされてきたため、退会が防げな



大野元昭 国際理事と

いことも原因といえます。

また折角獲得した新入会員もきちんとした受け入れ態勢がないと早期退会者になったり幽霊会員になってしまいます。

とにかく今現在の状況下では拡大より活性化が大

事と考えます。何卒退会防止とクラブ活性化に全力で取り組んでいただきたいと存じます。

ただし、産児制限はいたしません。会員増強、エクステンションをしなくていいということではないのです。国際協会は常にエクステンションを大きく取り上げています。退会防止、クラブ活性化、会員増強、エクステンションにも「ハーモニー」が必要なのです。

これらの4つの車輪の調和によってLC号がスムーズに走ることが出来るのではないのでしょうか。

ただ現状に合わせて既存のクラブ・会員の充実に重点を置いて運営されることをご期待申し上げます。



2. 奉仕活動の活性化

ライオンズ憲章には「奉仕の根源は愛であることを確認し心を込めて精進しよう」とあります。奉仕こそがライオンズクラブの原動力であることをもう一度思い出してください。

世の中が一時ゼイタクであったために、現在の地区もクラブの多くの行事が華美になってしまいました。簡素化というと物質的な不足をもたらすので、心の動揺は大きいでしょうが、今こそ我々の真価を発揮すべき時ではないのでしょうか。

思い切った発想の転換をはかり、クラブの特色を活かした奉仕活動をお願いいたします。ただ、金銭の代償によってのみ競い、それを以て自らが満足しているようでは、LCの奉仕とは異なるのではないのでしょうか。

また、アクティビティ資金はその出所を追求するものであり、単に集まった資金、余った金を与えることにより「我奉仕せり」と考えていてはかえって有害なのであります。

メンバー一人ひとりが自分のからだを動かし自らの労力や努力によって奉仕することにこそ意義があるのではないのでしょうか。金額の多少よりも、むしろこの資金の出所の意義の方が大切なのではないのでしょうか。

こうすることこそが世間から一部の特権階級の道楽視されている世の批判に抗することが出来ると確信致します。

WE SERVE !

3. 青少年の育成活動

今年度の最重点施策として私は「青少年の健全育成」を掲げ、地区青少年指導委員長のもとに「YE活動」「LEO活動」の充実、そして薬物乱用防止委員長のもとに最近の一般社会での「青少年犯罪問題」、その根底にある「薬物乱用問題」に対する活動を訴えていきたいと存じます。

青少年の薬物乱用は、その成長過程に大切な精神や身体をボロボロにし、人間としての生活を営む準備が出来なくなるばかりでなく、時には死に至る場合もあります。

また、薬物乱用による幻覚・妄想が殺人や放火等の凶悪犯罪や交通事故を引き起こすなど、乱用者本人のみならず周囲の人々、さらには社会全体に対しても取り返しのつかない被害を及ぼしかねないこととなります。

まず取り組まなければならないことは「薬物から青少年を守ること」であり、そのためには私たちが少年たちの薬物に対する興味等を早めに知り、その芽を摘み取ることとなります。そして薬物を許さない社会環境づくりが大事です。

来る10月8日ライオンズ・デーを中心に地区を挙げた統一活動を以て、青少年薬物乱用防止運動に取り組みます。これは決して地区のための事業ではなくあくまでも単位クラブのために、LCのPR、単位クラブの活性化、クラブ同士の協調と薬物乱用防止運動のハーモニーを奏することで、優秀な新会員の獲得と退会防止の雰囲気づくりを演出しようという私の願いを込めた提案でございます。

どうか各クラブのご協力をよろしくお願い申し上げます。

巻頭特集

10月8日世界ライオンズクラブ・デー

333-C地区 統一テーマ活動

「子どもたちを薬物乱用から守ろうキャンペーン」が目指すもの

10月8日は世界ライオンズクラブ・デー。笹本瞭ガバナーは5月の3役研修会以来、一貫して「10月8日に統一テーマによる活動を単位クラブの事業として一緒にやりましょう」と呼びかけられてきた。

ここ数年、333-C地区では地区が事業をすることの是非について活発な議論がなされてきたが、笹本ガバナーはどのような考えに基づき提案されたのだろうか？

その目的は？方法は？これまでの議論に対する対応は？などこれまでの経緯を交えながら特集を試みる。



薬物乱用防止のマスコット
ダメゼットイ君

【3 委員会合同の企画立案】

ハバナナンダ国際会長は今期のテーマとして「ハーモニー」を唱えられている。そこで笹本ガバナーは青少年指導委員会の望月武峰委員長、薬物乱用防止委員会の畝本昌介委員長、PR情報委員会の関口博之委員長の3Lに対して地区内のハーモニーを高めるために「青少年の薬物乱用防止」を中心として「地域内に好ましいライオンズクラブのイメージをつくる」ための活動を考えてほしいとの要望を出された。ただし「単位クラブの自主性を尊重すること」という条件つきである。

今回のキャンペーン案はこれらの条件を満たすものとして提案されたものである。

【活動の目的】

次により活動の目的と意義についてより具体的にふれてみる。

1) 地域の中にライオンズクラブのイメージをPRする

ハバナナンダ国際会長の提唱する「ハーモニー」。その実践のために地区内全域に調和ある統一されたイメージづくりをする。

2) 単位クラブの活性化のために地区ができること
地区は国際協会と単位クラブを結ぶ大切なパイプ役である。これまで「地区が事業をすることの是非」が議論されてきたが、これはあくまでも「歴代ガバナーが提案される地区の事業のためにクラブが協力する」ことを前提としていた。これは地区が主でクラブが従の事業と考えられるだろう。



笹本ガバナーは「会員数の減少への対策として、退会者防止・優秀な新入会員獲得のために地区がクラブのためにできることは何だろう」と自問し、「クラブの活動全体を活性化するため」には、これまで単位クラブが行ってきたLCのPR活動や入会案内の制作、オリエンテーションや指導力育成会議などについて「個々のクラブがバラバラに行うよりもある程度の規模でまとまって統一的に実施した方がレベルの高い、調和のとれた結果が得やすい」と考えられた。

単位クラブの活性化に役立つと思われることを、単位クラブの自主性を尊重しつつ、地区がお手伝いする形で提供・提案していくことが地区の役割という考えだろう。

3) ハーモニーある活動は市民に理解されやすい

船橋駅前でLCのノボリを見た人が電車に乗って千葉駅で降りたら千葉駅前でも同じノボリが目に入る。「ああ、あれはLCなんだなあ」とより深く印象づけられる。実際には各クラブ独自の工夫で内容は多少異なるものでも、受け手の市民には同じLCの活動として受け止められる。バラバラの活動よりハーモニーある活動は市民に受け入れられやすい。それでいて個々の活動は独立している。これが今回の統一テーマ活動の基本だ。

【活動の骨子】

1) ラジオによる市民への呼びかけ

地域の中に好ましいイメージをつくりだすために地区PR情報委員会では大きなメディアでかつ限られた予算で出来ることとしてラジオ放送によるPRを提案した。

局の選定に当たっては活動の当日が平日であること、パンフレット配布等を行う午前中から午後にかけて、呼びかけに応じてくれる可能性の大きい商店や事業所の方々や運転中の皆さん、主婦やお年寄りの方々が一番聞いているということを経験に行い、文化放送でいこうということになった。

時間帯は朝7時から午後5時半の間。事業の3日前である10月5日から当日までの4日間に合計60本の20秒スポットを流す。因みに電波料(放送料)は一本5~6万円である。スポットが流れる番組名は以下の通り。

6:30 ~ 8:30	小西克哉の なんだ?なんだ!
8:30 ~ 11:00	えのきどいちろう 意気揚々
11:00 ~ 13:00	梶原しげるの 本気でDONDON
13:00 ~ 16:00	吉田照美の やる気MANMAN
16:00 ~ 17:50	小倉智昭の 夕焼けアタックル

なお、文化放送のご好意で千葉県が発行する広報誌「ニューライフちば」9月号の表紙裏の目次の上(専門用語では表2)に大きな広告を出ささせていただいた。



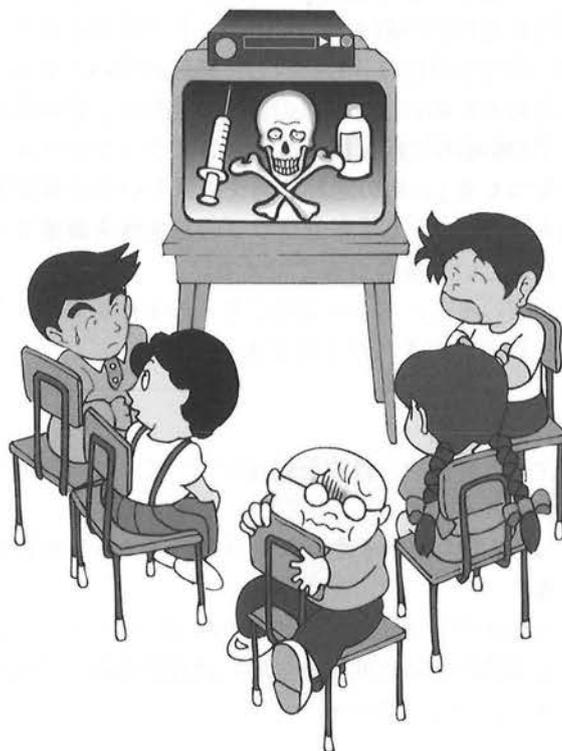
ラジオCMの内容は聞いてのお楽しみというところだが、20秒ではあまりに短いので2種類のパターンを制作していただく。

- テーマ 1 ライオンズクラブのイメージPR
2 10月8日の活動の予告

2) 大人を対象にしたパンフレット配布作戦

10月8日当日は、「子どもに教える前にまず私

ビデオで学ぶ薬物の恐ろしさ



「たち大人が知らなければならぬ薬物乱用の怖さ」というコンセプトから対象を大人としたパンフレットの配布を行う。

配布物として以下のものを地区で用意し各クラブに提供する。

- 1 薬物乱用防止のパンフレット
700部
- 2 LC用語を使わないPRリーフレット
700部
- 3 メッセージ入りティッシュペーパー
700個
- 4 お持ち帰り用封筒
700枚
- 5 設営用ノボリ
10本

クラブにお願いする対応としては次の通り。

1 関係団体への事前挨拶

地域内の警察、交番や市役所、教育委員会、自治会、学校などに事前に趣旨を説明し了解を得、協力を要請する

2 駅頭街頭でのパンフレット配布

10月8日 昼間

数人規模でもできるだけ多くのクラブの協力がほしい

検討事項 独自に横断幕を制作やパネルなどを制作

マイクによる呼びかけの実施

横断幕、パネルの原案は地区で用意(有償で配布可能)

クラブ独自の他の事業と併設、併催も可

3 自治体ごとに地域内のクラブ間で調整強調して教育ビデオの贈呈を行う贈呈先 ~教育委員会保健体育科、少年センター、保健所、図書館など

4 地域に対する事前PR 地域内の広報、新聞、ミニコミ誌への広告、ケーブルテレビ、ミニFM局などでのPR

5 独自の配布方法を探求する

家族や関係者に配る

パンフレット等をメッセージを添えて友人知人に郵送する

周辺の商店や会社などに配布して歩く

レストランや病院、銀行などに置いてもらう

ただし、パンフレット等に関して参加しないクラブの分は近隣クラブと調整の上融通しあっていただく。また、パンフレットの追加については1部10円にて承る。



3) 薬物乱用防止の教育ビデオ贈呈

以上に述べたのが10月8日の活動の内容であるが、ここまではどこにも「青少年」を対象とした活動が出てこない。

この活動の効果をより高めるために、各クラブが自主的に薬物乱用防止教育ビデオを地域の中の教育委員会、少年センター、保健所、図書館などに可能な範囲で寄贈していただく。贈呈されたビデオは地域の中の小中学校に貸し出されて授業の中で子どもたちに薬物乱用の怖さを伝えることが出来る。

この活動の目的は「薬物を始めてしまった子ども」ではなく「まだ始めていない子どもたち」に対する予防教育であり、贈呈実施から数年間効果が持続する。

ただし同じ千葉県内でもエリアによって問題点や薬物汚染の状況がまちまちであるので、地区でいくつかのビデオを紹介し各クラブで各機関と相談の上、適切なタイトルのビデオを選定していただく。

実施時期は活動の当日前後が好ましいが、状況に応じて特定はしない。

【クラブの事業として報告】

これまでに述べた活動はすべて参加したクラブの金銭労力アクティビティとなる。ただし、今後同様な統一活動を行うときのために、今回の活動の状況を総括する必要がある。そこで、地区PR情報委員会に以下の各項目について報告していただけるとありがたい。

1 金銭アクティビティ

横断幕やパネルなどの制作費やパンフレットの郵送費、広告費、ビデオ贈呈費用など

2 労力アクティビティ

活動の趣旨説明や挨拶に要した時間、準備や宛名書きに要した時間、当日の活動時間など

3 実際に配布したパンフレットの枚数



今年度地区PRイメージキャラクター
ライオンズマン

21世紀に向けた新しいライオンズクラブづくりのために

PRと事業のバランスを考えた総合プロデュースの成功例

君津ライオンズクラブの場合

1997年10月19日、君津LCが30周年記念事業の一環としていろいろなメディアを利用し広く市民に呼びかけて実施した「君津クリーン運動」は参加者数が16,500人に及び「事業としての成果」「地域の中におけるLCのイメージづくり」に成功されただけでなく「会員が参加してよかったと思えるクラブ活動の創造と実現」という意味でも大きな成果をあげられた。

今回笹本ガバナーが呼びかけられている10月8日世界ライオンズクラブ・デーの地区内統一テーマ活動のモデルともいえる「君津クリーン運動」の成功は、ひとつの事業をいろいろな角度から総合的にプロデュースするという手法が、事業を単発の事業に終わらせずに会員増強や退会防止、長期計画なども視野にいれた21世紀へ向けたライオンズクラブづくりの基礎となることを実証したと考えられるだろう。

そこで、地区統一テーマ活動を目前にした今、君津LCの前会長の正木Lに1年前の活動を振り返って、工夫された点などを具体的にまとめていただいた。同時に長年PR活動の重要性を強調してこられた君津LCの杉浦地区名誉顧問にもコメントを頂戴した。

市民16,500人参加の30周年記念事業



「君津クリーン運動」を
成功させるまでの足跡

君津LC前会長
L正木 守

君津LCの従来の周年記念事業は「市民の皆さんの役に立つものを贈る」というスタンスで企画実施されてきましたが、今回は「地域の皆さんのご協力ご理解が得られる事業」を「地域の皆さんとともに一つになって実現しよう」との視点から「君津クリーン運動」を企画してみました。

本事業は平成8年11月から企画検討を始め、翌年2月より準備活動を始めました。まず、始めたのは多方面に何度も何度も足を運び、お願いや趣旨説明を徹底的に行ったことです。その結果、市内各地の自治会や小中学校の賛同を得ることができ、また君津市の後援を得たことは大きな自信につながり、本事業の推進力となりました。

それらを土台として、市の広報や地域のミニFMラジオ放送を使ったPRにより地域の皆さんに参加の呼びかけを行いました。ここでは特にそのFMラジオを使ったPRの経過を具体的に述べさせていただきます。

まず、9月21日に君津市の「クリーンシティフォーラム in 君津」の中で君津LCの主催した「チャリティーフリーマーケット」への参加呼びかけや出店募集を、その10日程前よりFMラジオ放送にて30秒スポット（実際には1分近くしゃべってしまいましたが）の生CMに出演し、毎日朝8時半と夕方5時半の2回放送しました。

また、そのFM放送のご好意により「仕事人紹介」「トワイライトアベニュー」という番組の中で、ライオンズクラブの活動内容やどのような主旨の団体であるかなどの説明を無料で放送していただきました。

そして21日のチャリティーフリーマーケット当日には、会場から実況ライブで放送していただき、その中で10月12日の君津ライオネスクラブ主催のチャリティーコンサートへの参加呼びかけや、10月19日の「君津クリーン運動」の趣旨説明、ラ

イオンズクラブの目的、そして市民全員への参加呼びかけ等を行いました。

このフリーマーケットの盛況でFMラジオ放送のPR効果を実感する事ができ、その反響の大きさに自信を持ちまして、メインイベントである「君津クリーン運動」のための参加呼びかけをやはりFMラジオ放送で行うことにしました。今度は事業の2週間前から毎日2回、同様な30秒スポットの生CM(今回は毎回1分30秒近く)を放送時間帯を指定しないかたちで放送しました。

そして、10月19日当日は「感動」という言葉を通り越して「驚き」という程に予想を上回る冒頭の16,540人の参加者がゴミ拾いに協力してくださり、14.32トンのゴミを街の中から回収することができました。

この結果は、参加者数といい、内容といい、私がライオンズクラブに入会して以来最も大きな事業だと胸を張って言えるものになりました。

ここでは昨年私たち君津ライオンズクラブが行った事業の中からFMラジオ放送によるPRの経過と効果について述べさせていただきましたが、この事業を通して私が感じた最も大切で重要なことは「新しい試みに対して積極的に動き、建設的視野に立って判断を行い、多少の失敗に対しても咎めることなく大らかな気持ちで見守るというクラブメンバー一人一人の前向きな姿勢」だということです。

最後に、君津ライオンズクラブの新しい試みが21世紀に向けたアクティビティへの一助となることができればこれほど喜ばしいことはありません。私たちはこれからも失敗を恐れずに精一杯努力していきたく考えています。



FMラジオに出演中の正木L



若さこそ貴し

君津LC
地区名誉顧問
L.杉浦 明

私たちのクラブ会報「THE LION きみつ」はちょうどクラブの十周年の年に誕生いたしました。爾来月刊でB5版八頁建てとして現在まで一回の休みもなく23巻2号(通巻266号)を8月18日に発行いたしました。PR・情報の重要性を認識した当時の会長やクラブ役員の熱意に基づくものであることは論を待ちません。編集は、いささかメンバーへの情報伝達に軸足が置かれていたことは止むを得なかったことであつたと思われるのですが、それでも最近では地域住民のみなさんにライオンズをご理解いただくという編集にも眼を向けつつあつたことも事実でありました。

年次大会の分科会では、私はここ数年続けて「PR情報分科会」に顧問として出席をさせられておりました。

ある時、私の眼をカッと見開かせてくれたのは市川Cの吉原Lの言葉でした。「例えばゾーンヤリジョンごとでの地域のケーブルテレビの活用などについて提案してみたい」というものでした。1995年旭市における第41回年次大会でのことでもあります。

私はライオン誌日本語版の編集長を務めさせていただいたこともあり、PR情報については一通り理解をしているかのような自惚れを感じておりましたが、「ケーブルテレビの活用」という新しい分野の媒体など到底思いも寄らないことでした。彼の提案の奇抜さに強く打たれるものがありその後もこのことは私の心を強く揺さぶり続けておりました。

たまたま昨年私のクラブも30周年を迎えました。この30周年をクラブ活動見直しの機会にしようという正木会長(当時)を始め若手メンバーの意欲に老生も大いに打たれ、久しぶりに燃えるものを感じたのであります。まずアクティビティは市民とともに、物や金よりは汗の奉仕を、そのためには市民にライオンズを正しく理解していただくPR活動が重要な意義を持つことになったのであります。

私は若い正木Lに、かつて胸の中にあたためていた吉原Lのケーブルテレビ活用論を訴え、新しい媒

体の開発を促したのであります。正木Lは大いに共鳴し新手法FMラジオを通じてのPRを企画実行し、予想以上の成果をあげることが出来たのであります。

クラブは古くて古いままでは滅び、古くて新しいもののみが栄えると言われておりますが、まったくその通りだなあとつくづく思い知らされました。

因みにわがクラブ30周年の主なアクティビティは「君津クリーン運動」の実施（市民16,450名参加）、PR広報活動のフリーマーケット、ソプラ

ノコンサート、FM放送、新聞折り込み、タイ国へ楽器贈呈などで、いずれも新しいタイプの活動の開発でありました。もちろんこれらはライオンズだけでなくライオネス、レオの三位一体の成果であることは言うまでもありません。

前例踏襲、事なかれ主義では、新しいものは生まれません。

わがクラブがこれらの改革を成し遂げられた原動力は、「メンバーの熱意」と「クラブの若さ」（年齢ではない）ではなかったかとしみじみ思い起こしております。

10月8日活動への準備

青少年薬物乱用防止研究会 開催

日時：1998年8月28日午後1時30分～4時00分

場所：セントラルホール（千葉市）



10月8日の活動を前にまずLCのメンバー自身が薬物乱用の実体と怖さを知るために、地区薬物乱用防止委員会（L畝本昌介委員長）による勉強会が開かれた。当日は月末の金曜日にもかかわらず県内各地より約250名の参加を得て活発な質疑応答の場面も見られた。

冒頭、挨拶に立った笹本ガバナーは21世紀を担う青少年の健全育成のために、本年度の最重点項目として『子どもたちを薬物乱用から守ろうキャンペーン』を掲げ「10月8日世界ライオンズクラブ・デーに県内で統一テーマ活動を行うが、本研究会はその為の基礎づくりの場として企画した。今後、『ニューライフちば』9月号への広告や10月5日から8日までラジオ文化放送でのスポットCMでの呼びかけで活動を盛り上げ、当日の街頭でのリーフレット・ティッシュ配布、教育ビデオ贈呈を成功させたい」と呼びかけた。

研究会では薬物乱用防止に携わっている県衛生部、千葉県警、県教育庁の代表者にそれぞれの立場から現況や

対策、問題点など生々しいお話を聞くことができた。

はじめに千葉県衛生部薬務課、薬物乱用対策班主査の江澤惇氏から内閣総理大臣を長とする薬物乱用対策推進本部が作成した「薬物乱用防止五カ年戦略」を中心とした取り組みについてのお話があり、続いて千葉県警察本部分生活安全部少年指導課、千葉県警視の石井慶一氏より「少年非行と薬物乱用の実態」、休憩をはさんで千葉県教育庁学校指導部、学校保健課学校保健技師の千葉由之氏より県立高校を中心とした県内の小・中・高校での薬物乱用防止対策についてお聞きした。

公演後、望月武峰地区青少年指導委員長と関口博之地区PR情報委員長から挨拶があった。



ライオンズインフォメーションのページ

地区ニュース、シンプルなタイトルの裏側

これまでの地区ニュースはガバナーの出身地や運営方針などからその年度ごとに個性的なネーミングを施されてきた。そしてその名称がキャビネット役員と同窓会の名称になっている場合もある。

今年度はどんな名前を付けようかと悩んでいると笹本ガバナーから「名前は簡単に『333-C地区ニュース』として装丁も簡素化して出来るだけ読み物風にしてほしい」とのご指示があり、それじゃあということになった。



PR活動と情報活動の分離

PR活動は「LC以外向けのアピール」、情報活動は「LC内部の会員相互の情報交換」であり、それぞれまったく違う活動であるということは知られている。しかしながら、これまで地区PR情報委員会の活動は、「地区ニュースの発行」をもってPRと情報の両活動をカバーしていると考えられてきた。が、実際には杉浦名誉顧問のご指摘にある通り、会員相互の情報交換が中心だったと思われる。

営々と築かれてきた地区ニュースの歴史が変わり始めたと感じたのは浮谷キャビネットの皆川春安委員長長の「房総エイト」からだ。それまでは格調を重んじてきた地区ニュースを委員長自らがリード（見出し説明文）をより平易な表現で書かれ、暖かみのある装丁に変え、PR情報セミナーの開催にも取り組まれた。

そして昨期、成田キャビネットの塚田雅二委員長率いる地区PR情報委員会は、地区ニュース「せんよう」の発行回数をこれまでの6回から4回に減らし、捻出した予算で地区史上初の外部向け専用PRパンフレットを制作された。PR活動と情報活動を分離した画期的な第一歩だった。新会員招請の小道具としても非常に有用だ。

笹本ガバナーの方針「地区PR活動の強化」

今年度は塚田委員長の方針をさらに一歩進め、

「事業とPRのハーモニー」の実現のために地区ニュース費が使われる。「ライオンズ用語を使わないPRパンフレット」の制作、薬物乱用防止活動用ティッシュの費用の一部やラジオCMの制作費の一部などだ。

「地区ニュースの予算は各会員が出しているのに勝手に他のことに使ってはならない」や「6回分として会員一人あたり1,200円拠出しているのに勝手に3~4回に減らすならその分を返金して欲しい」というご指摘があった。まったく「ごもっとも」と同意したいが、例えば会員数40人のクラブからの拠出金48,000円を全額返還したとして、この金額でクラブ財政が好転したり、クラブの活性化のためにより良いPR情報活動ができるとは思えない。むしろ、現行の地区ニュース予算の枠内で情報活動のための地区ニュース発行回数を減らすなどして余剰金を捻出し、地区規模で質の高いPR活動を行う方が建設的と考える。



地区規模でのPR活動は、最近多くのメンバーが感じている会員数の減少、退会防止などの問題に対処する方法として、笹本キャビネットからの回答だ。さらに、各クラブが拠出した資金を各クラブの活性化のために地区が支出するという観点から、限

られた予算を積極的に再配分し有効利用すると考えて頂ければ幸いだ。

単年度用PR費用が無駄ではない理由

また、「PRパンフが2年連続で出来るのはもったいない」というご指摘もあった。塚田委員長が制作されたPR誌は地区内のクラブ活動を写真で綴ったもので普遍性があり、今後も数年に渡って各クラブのPRに大いに役立つだろう。

今期、関口委員長が制作しているのは、内容をより市民の目線に近づけ子どもや女性にも理解してもらえるようにライオンズ用語を一切使わないPRパンフだ。このパンフでは敢えて笹本ガバナーにご登場いただいた。「ガバナーが載っていたんじゃ、来期は使えない」などと言わないでほしい。今の市民は「誰が」呼びかけているのかをはっきりさせないと見向きもしない。また、その年のガバナーを県民に紹介するというだけで組織のPRに十分意義がある。

「変わらなきゃ！ライオンズ」

数年前にプロ野球オリックスのイチロー選手を起用して制作されたCMに「変わらなきゃ！日産！」というのがあった。日産が本当に変わったかどうかは別として、LCの多くのメンバーが「変わらなきゃ！ライオンズ」と考えていることは間違いない。

「いやいやライオンズは安泰で不滅だから変わらなくていい」という方もあるかもしれないが、「日本はゼツタイ大丈夫」と政府財界はじめ多くの人々が信じて今日の経済状況があることを忘れないでほしい。

かといって何かを変えたり新しいことをするときには誰でも抵抗を感じるものだ。しかし、何かを変えようとしたとき「批判するのではなく得られた結果が良くても悪くても、それをいかにして未来に活かすか」が大事だと君津LCの正木Lは強調されている。

笹本ガバナーの挑戦が今後の千葉県ライオンズクラブに役立つことを願って止まない。

(文責：地区PR情報委員会)



ご挨拶

ガバナー公式訪問も始まり、笹本キャビネットも本格的に始動しました。地区ニュース第1号発行にあたり笹本ガバナーへの期待を込めたメッセージと地区幹事・会計のお二人から任務遂行への決意を寄せていただきました。



笹本ガバナーの門出を祝って

前地区ガバナー
L. 飯塚 一郎

第一回キャビネット会議もつつがなく終了され、笹本キャビネットが順調に船出されおめでとうございます。

1998年7月3日、英国バーミンガムに於ける第81回国際大会の席上、地区ガバナーにご就任され、その場にはからずとも同席することが出来まして、ガバナーエレクトのリボンを取りはずささせていただきました、大変光栄に存じているところでございます。

「高めよう愛と知性と心で奉仕」をガバナースローガンとして、地区運営にあたられる笹本ガバナーにおかれましては既にキャビネットの三役をご経験され、卓越した知識と指導力をお持ちの素晴らしい方でございます。

ここに笹本キャビネットの門出を祝福申し上げますとともに、歴史と伝統ある333-C地区の充実発展と輝かしい成果があがりますようお祈りし、内局員一同の堅い団結と地区役員の皆さまのご協力とご精進をお願いいたしましてご挨拶と致します。



地区発展のために努力

副地区ガバナー
L. 岡野 正義

今年度、副地区ガバナーを務めさせて頂くこととなりました。

笹本ガバナーは「高めよう愛と知性と心で奉仕」のスローガンのもとに、運営費の節約、青少年健全育成の強化等の基本方針を、ゾーン単位で然も簡素

な公式訪問や10月8日を中心とした薬物乱用防止キャンペーンで具体化される等、意欲的な行動計画を立て実行されておられる点、心底敬服いたしており、皆さまとともにガバナー方針の実現にむけて頑張っておきたいと決意しております。

副ガバナーに就任して早速、国際大会、キャビネット会議、サマーキャンプ等に参加し、関係各位の熱心な活動を拝見するにつけ、ただただ敬服いたすとともに、次年度も関係者の方々がスムーズな運営に向け早めに準備に入れるように配慮していくのが私の役目の一つかなと感じております。

また、地球規模でのグローバル化が進む中で、従来の尺度に替わる新しい価値観が求められつつあると感じております。

ライオンズクラブ国際協会の一員としての連帯感を土台とし、大勢の同士とともに新世紀に相応しい目標を掲げて前進していくことへの、責任の重大さに身の引き締まる思いが致すと同時に、やり甲斐もあるのではないかと感じ始めております。

何れにせよ大変未熟ものですが、この一年間笹本ガバナーはじめ諸先輩方のご指導を頂きながら、地区発展のために多少ともお役に立てる人間になれるよう精進して参る所存でございますので、どうかよろしくお願い申し上げます。



お祝い

地区名誉顧問会議長
L. 浮谷 俊行

平成10年7月3日、イギリス、バーミンガムにおける第81回国際大会において、ハバナナダ国際会長より笹本瞭ライオンが第45代333-C地区ガバナーに任命されました。

笹本ガバナーの門出を祝い、今後のご活躍を祈念するものであります。

笹本ガバナーは「高めよう愛と知性と心で奉仕」を

スローガンに333-C地区の今年度指導方針を示され、その中枢を担う皆さまとその実践のために鋭意努力されています。一年は早いものです。前半が勝負どころです。是非とも皆さまが一生に一度のお役であると考えて頑張ってください。

経済が全般に悪いときに実業に力を費やしてもあまり良い結果は得られません。

こういう時にこそ、精神的にも肉体的にも爽快になる奉仕の実践に邁進しようではありませんか。

幸いにして笹本ガバナーはキャビネット三役を経験され、簡素化の問題とか合理化の問題とか差し迫った問題について、的確な答えを出せる人です。

皆さまと共に、努力してその成果を味わいましょう。ご健闘をお祈りします。



地区発展のために努力

地区幹事

L. 田邊 誠二

今年度333-C地区の幹事を拝命し、身に余る光栄であります。この一年間、諸先輩の築き上げたものを汚すことなく真摯に受け留め、地区の発展のためにガバナーの手足となって最善を尽くす所存であります。何卒地区内全メンバーのご協力をお願い申し上げます。

20世紀も終わろうとしています。今世紀中の産業社会の発展は凄まじい勢いで庶民の生活を豊かなものに変え、ライオンズクラブもその豊かさの中で拡大してきました。しかし、現在の日本経済の破綻、そしてアジア経済の破綻はこれまでの流れを一変させています。このような時期にキャビネットの一翼を担うことになりましたが、事業また運営に於いて非常に厳しい局面になるでしょう。ガバナーを中心としてキャビネット内局員が一致団結し乗り切る所存であります。

ガバナー笹本瞭Lの今年度最重点目標は青少年の薬物乱用防止です。これは明日を担う若者が薬物に汚染されるのは私たち大人の責任であるという考えに基づいています。千葉県においては現在まで薬物乱用による青少年の逮捕者は多くはないという報告をお聞きしていますが、だからといってこれを放置しておけば、米国やヨーロッパのように社会問題化しかねない状況です。この運動は何らかの形で継続

的に取り組む必要があると思います。333-C地区全クラブのご協力を心よりお願いいたします。

未来に向かってライオンズムの昂揚と地区内の融和協調を図り、地区発展のために努力する所存であります。何卒みなさまのご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。



責務の遂行に全力投球

地区会計

L. 米本 隆二

この度、333-C地区会計の大任を仰せつかり誠に光栄でありますと同時にその責務の重大さに身の引き締まる思いが致しております。

私はライオンズクラブの経験も浅く識見も十分とはいえませんが、笹本ガバナーの卓越した知性と指導力のもとで責務の遂行に最善を尽くす所存でございます。

本年度は若さを誇る内局であり、田邊地区幹事を中心に一致団結して地区運営にあたり、最後に喜びを分かち合いたいと思っております。

笹本ガバナーは青少年健全育成を最重点施策に掲げておられます。その中で特に3委員会（PR情報、青少年指導、薬物乱用防止の各地区委員会）統一キャンペーンの実施に向けて着々と準備を進めております。限られた予算ではありますが、成功させるためにライオン各位のご協力、ご支援をお願いするものであります。

会員数減少の中、地区財政は大変厳しいものがありますが、予算支出に当たっては、事前のチェックを慎重に行って参ります。

この一年間微力ながら全力投球で頑張りますので、ご支援、ご協力の程お願い申し上げます。



リジョン・チェアマン今年度の方針、抱負

去る7月26日(日)に船橋市のフローラ西船にて開催された第1回キャビネット会議の席上、10人のリジョン・チェアマンの皆さんから新年度に向けた決意や抱負、またご自身のライオンズ観等が披露された。これまでの地区ニュースでは紙面の都合上、短い挨拶文のみの場合が多かったが、かつてはDDG(副ガバナー)と呼ばれたエリア代表の方々であるので今回は敬意を表して前文を掲載する。



子どもの人権活動へのご協力を

1 R・RC

L. 山本 繁樹

笹本ガバナー出身の地元リジョンのRCに就任し、責務の重さを痛感しているところでです。333-C地区のライオンズ憲章にもある如く、各クラブの自主性を基本とし、クラブ間の融和に努力したいと念じています。

世相は急激な変転と混迷の中にあり人々に生き甲斐や価値観を減退させ、責任感の稀薄、自己中心的で他への思いやりを欠き、周囲の無関心、家族の絆の切断など世紀末現象を呈していると思われま

す。このような時代にあってライオンズ全体が一丸となって次の世代を背負う青少年育成活動を行うことは有効なことと確信します。従来の活動に加えて、現在の子どもの環境を人権啓発や争いの防止の視点から、更には希望のもてる分野への誘導、県下ライオンズの立ち上がりによる全国展開も考えられるかと思ひます。私は法務省人権活動の中でも千葉県子どもの人権専門委員長として、いじめ・体罰・虐待・自殺防止等の啓発紛争解決に当たっていますが、予算活動能力範囲には限度があり、学校家庭だけでなく前述した社会の反映もあって、社会全体で考えなければならない問題となっています。

今年是世界人権宣言50周年にあたり、千葉県は人権ネットワーク活動に指定されています。ライオンズクラブがネットに参加され各地域の人権擁護委員とご協力を賜れば新しい奉仕活動が必ず誕生するものと確信しております。

松戸中央LCも和田康男Lのご提唱で協力していただく予定であります。私の所属する市川LCも昨

年は子どもの人権啓発に協力して成功を収めました。次の世代を育て、明るく正しい日本づくりご協力を、と事あるごとに叫んでいますので我田引水ながらこの紙面を拝借しました。私の本来の職務から外れましたがアクティビティの一助になればと思う次第です。この一年、微力ながら頑張りますので温かいご協力をお願いいたします。



会員数減少の阻止・退会防止への努力を

2 R・RC

L. 吉岡 守

現在、各LCの最大の問題であります会員数の減少について、原因究明と対策に全力で努力しなければならないと思ひます。この問題が少しでも解決されませんと各LCの運営や活動に重大な支障となり、LCの活力やACT活動の衰退を招くと大変な危機感を感じております。

原因はいろいろあると思ひますが、私の所属クラブを考えますと最近、LC内の良き雰囲気が変わり、LCに魅力を感じなくなり例会欠席から退会になる場合があります。

こうした問題は他クラブにもあるようですので、R内のZCや他のキャビネット役員、各クラブとも十分協議致しまして、退会防止対策策定に努力したいと思ひます。

今年度RCとしてその責任を果たすよう努力いたします。笹本ガバナーを中心とされますキャビネット活動の推進にご協力申し上げ、R内各クラブの活動に期待致しますとともに、自主性を尊重し最善を尽くしたいと思ひますのでよろしくお願ひいたします。



誠意をもって任務を遂行

3 R・RC
L. 寺嶋 佳一

去る5月30日に開催されたRC予備会議ではガバナーと親しくディスカッションさせて頂きましたが、ガバナーのライオンズに対する情熱と誠実、実直な人柄をとくと伺い知る事ができました。この度縁あってか3RのRCを務めることになり、責任の重大さをひしひしと感じているところでございます。

333-C地区の会員数の動向をみると増加するどころか減少しているのが目に付くようになりました。当Rも経済情勢の不振からか退会者が後を絶たず、会員増強に力を入れてやっとの思いで増強するとすぐ退会者がでる、各クラブとも何とかしようと思死に退会を防止しようと努力しているのが、現状であります。

今年度も笹本ガバナーは会員増強はもとより、退会防止に積極的に努力しようと提言しておられます。このような経済情勢下で、LCが健全でスムーズな運営をしていくにはどのような方策を取っていったらよいか、また3R内クラブの意志の統一を図る意味からZC、各クラブ会長とも相談の上、積極的に勉強会を開き、いくらかでも退会防止に役立たいと考えております。

ガバナーは将来ある青少年を健全に育成せねばと青少年健全育成と薬物乱用防止を最重点施策に挙げられました。我が3Rでもガバナー方針に基づいた合同アクティビティが出来るよう努力していきたいと思っています。

微力ながらRCの責務を十分に認識しガバナーが円滑な地区運営ができますよう誠意をもって任務を遂行する所存でございますので今後ともご指導よろしくお願い申し上げます。



We Serve



リジョン・チェアマンになって

4 R・RC
L. 鈴木 行正

4R・RCをクラブの事情でまたお受け致すことになりました。任期満了まで一生懸命に全うしたいと存じております。よろしくご指導ください。

前任の坂巻豊国Lは若さで何事にも責任感が強くいろいろとご活躍の一カ年ご苦労様でした。

ご案内の通りK. K.ハバナナダ国際会長のテーマは「ハーモニー」と発表されております。調和・協調・一致という意味のハーモニーの実践で格調高い「クラブ」づくりをみんなで目指しましょう。

333-C地区、ガバナーズローガンは「高めよう愛と知性と心で奉仕」を提唱されました。運営目標は

1. 既存クラブの充実（運営の簡素化、会員増強と退会防止）
2. 奉仕活動の活性化（自らの労力、努力）
3. 青少年の育成活動（YE・LEOの活動、青少年薬物乱用防止）

ガバナー方針達成のため、RCが果たすべき役割を積極的に組み入れ十分に計画立案そして実践していく所存です。どうかその際にはご協力をお願い致します。

幸いにして今年度も良きパートナー（リジョン内地区役員、クラブ3役）に恵まれ、各ライオンには大いに盛り上がり、ガバナーの運営方針に理解と協力を惜しまない旨をお誓い致しました。

国内景気も未だ低迷のままです。一日も早い景気の回復とL各位のご事業のご繁栄とご多幸をご祈念申し上げ終わりと致します。



98～99年度の抱負

5 R・RC
L. 佐瀬 喜一

平成10年5月9日のキャビネット構成委員等研修会に、笹本瞭地区ガバナーエレクト（当時）はガ

バナースローガンとして『高めよう愛と知性と心で奉仕』を提唱され、続いて①退会防止に努力、②各クラブごとにそれぞれの特色を活かした奉仕活動を行う、③YE、LEO活動の充実、④青少年の薬物乱用防止の4項目を特に要望されました。

また、5月30日には笹本Lを囲む次期RCの会が10名全員出席のもとに、活発な討議が交わされ、席上笹本Lは私どもLCに①クラブの簡素化(特に経費を節減)、②労力奉仕、アクティビティ資金の増加、③LCIFの増加、④PR情報部門の強化を要望されました。

私は以上の笹本Lの方針を踏まえ、5Rの場合は3つのZ、1Zは5クラブ、2Zに5クラブ、3Zに6クラブから構成されておりますので、3名のZC=1Z小川孝徳L、2Z大谷孝一L、3Z庄司辰二郎L並びに地区委員長と連絡を密にし、まず16クラブの例会訪問を第一に行い、各クラブの特性を知り、LCに対する考え方やご意見を十分に拝聴するつもりです。

私の所属する千葉クラブには副地区ガバナー岡野正義Lがおられますので、直接のご指導を受けておりますが、9月には20日、26日、27日と5Rのガバナー公式訪問があり、新入会員研修会も早期開催を要望されております。云うまでもなく5R内に於ける笹本ガバナーの補佐が私の第一の責務と受け止めておりますので、キャビネット構成員各位のご指導を仰ぐ次第です。



転換期のバトン



6R・RC
L. 塚田 雅二

経済変動同様、時の流れとともに、我々クラブ運営にも転換期がきている感じのする昨今です。

私ども6Rは結成30年以上の3クラブを中心に新旧バランスのとれたRで、飯塚前ガバナーを支えた活力を笹本地区ガバナーに息切れせずに継承できるよう努力したいと思いますので、皆様方のご指導ご協力をお願い申し上げます。



R内各クラブの発展のために

7R・RC
L. 斎藤 一夫

この度、7RのRCの大役をお受け致しその責任の重大さを痛感しております。ガバナースローガン「高めよう愛と知性と心で奉仕」を遵守し、本年度の抱負は既存クラブの充実、奉仕活動の活性化、青少年健全育成の積極的活動を、推進致します。又、ガバナーの補佐役としてZCと協力して、R内各クラブの拡大、発展と運営の簡素化を積極的に活動展開して行く所存でございます。メンバー各位の御支援と御協力を心よりお願い申し上げます。



人間関係・コミュニケーション・協調をモットーに

8R・RC
L. 安田 正吾

このたび、リジョン・チェアマンの大役を仰せつかり時の経過とともに自分がその重責の任に相応しい器か考えると身の引き締まる思いでございます。

長いライオンズ活動の中で8リジョン内の8クラブの同士の絆は一つであります。二人のゾーン・チェアマンを中心として8リジョン内の地区役員並びに各クラブ執行部の皆様のご協力をお願いし、人間関係、そしてコミュニケーションと協調をなよりのモットーとして、その基盤の上に立っての事業の推進でありたいと願っております。ただ限られた一年の間にガバナーの真意がどの程度理解できるだろうか、それをリジョン内のメンバー各位にどれだけ十分に伝えることが出来るだろうか、しかし限られた一年間だから一生懸命やらなければという気持ちと不安が交叉しております。

ガバナースローガン『高めよう愛と知性と心で奉仕』と共に運営目標として、既存クラブの充実、奉仕活動の活性化、青少年の育成活動を提唱されていま

す。その中で退会防止については、増やせども減らさないクラブ運営をとガバナーが言われています。この長引く不況の中ライオンズ活動どころではないよ、自分のことだけで手いっぱいだよというライオンズメンバーの声も聞こえてくる中で、今だからこそライオンズの活動が必要なんだよという声も聞こえてきます。

今、このような時代の中そんなメンバー、メンバー予備軍を一人でも多く捜し出してクラブの中心となってくれるようになってほしいと願っております。それにより活性化を計り一人でも多くの会員増強をしていきたいと考えております。又クラブ運営の簡素化についてもリジョン内の両ゾーン・チェアマン、地区役員、クラブ役員、メンバーと共に手を携えながら、既存クラブに充実し、充実、活性化されたクラブにより、奉仕活動、青少年の育成活動もより充実したものにしたいと思っております。

一年間、誠心誠意努力を重ね職責を全うしたいと思っております。ライオンズメンバー皆様のご指導、ご協力を心よりお願い致します。



退会防止、会員増強に努力

9R・RC

L. 佐藤 繁美

この度9Rのリジョン・チェアマンの大役を受けその責任の重さに身の引き締まる思いが致しております。ガバナー・スローガンの方針に向かって、9Rが一体となり発展に精進して参ります。又ライオンズクラブの永遠の課題である退会防止、会員増強に対しメンバー各位の理解を最重点目標に努力したいと思っております。先輩ライオンの作り上げた名誉を大切にし知性に満ちた奉仕活動にはげみ、クラブメンバー各位の暖かい、ご支援ご指導を心からお願い申し上げます。



奉仕活動はやらせていただくという心を大切に

10R・RC

L. 中川 都弘

この度RCを拝命致しましたが、もとより浅学非才であり、その責任の重大さに身の引きしめる思いであります。

今年度、笹本ガバナーの方針が非常に素晴らしく、特に涙を忘れ、感動を忘れたと言われる現代っ子の為に、青少年犯罪問題、薬害問題にとりくみ、R内各クラブとよく討議してゆきたいと思っております。「奉仕活動は、やらせていただく」という心を大切にライオニズムの高揚につとめます。

この大切な一年を迎えるにあたり、一層のご支援をお願い申し上げます。

6月30日・バーミンガム国際大会
インターナショナルパレードの風景

地区委員会年間活動方針

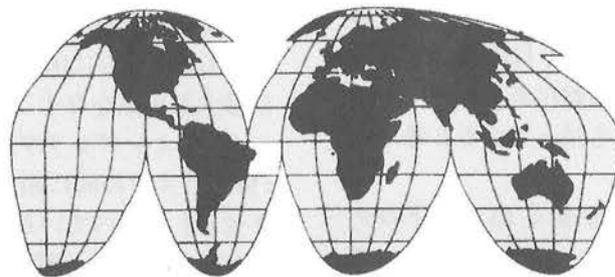
地区ニュース本来の使命は地区の活動内容を各クラブに伝えること、単位クラブや個々の会員相互の情報交換・意見交換である。

地区は地区自身の為にはなく、単位クラブのレベルでは荷が重すぎるYE等の活動や地区内のLS・LEOクラブの活動を支えるために委員会を設置している。

ところが、クラブの側には地区からの「押しつけ」的な活動参加要請に対する不信感があり、地区委員会の側にはそれぞれの活動に参加してくれない多くのクラブの無関心に対する不満がある。

その最大の原因はお互いの情報の流通が不十分であることと思われる。そこで今回はそれぞれの委員会からの投稿に紙面の制限をせず、自由に呼びかけや報告をして頂く。特にLSとLEOの両委員会には専用ページをLSとLEOの皆さん自身に制作して頂くことにした。

クラブ役員の方々はもちろん、会員諸兄にもどうか関心を持ってご一読頂けるようお願いしたい。



地区 PR・情報委員長
L. 関口 博之

本年度は新しいPR活動の試みとして、広く一般社会の人々を対象に極力専門用語を使わない小冊子、即ちライオンズクラブの事業目的などを分かり易く解説し、どのクラブでも共通して利用できる様なパンフレットを作り、幅広い広報活動を展開したいと考えております。そしてメンバーを対象としたインフォメーションの提供としての内部的な地区ニュースは出来る限り簡素化して、通算で3回の発行にしたいと思っております。

又、笹本ガバナーが青少年の薬物乱用防止に特に力を入れたいという意向ですので、薬物乱用防止運動の為にリーフレットの作成、更には予算の許す限りラジオ放送による薬物乱用防止キャンペーンにも取り組みたいと思っております。



地区 EXT 委員長
L. 木下 務

トンネルに入った日本経済、今迄に出口の明りが見えて来ない昨今、倒産、夜逃げが続発、いつになったらこの不況から脱出できるのか。

この度、地区EXT委員長を任命されました。新しいクラブを作るには、全クラブからの情報だと思います。どんな小さな火種でも結構です。ご一報賜りますればお手伝いさせていただきます。





会員増強のお願い

地区会則・会員増強委員長
L. 中村 新一郎

今年度地区会則、会員増強委員長をお受けして非常に緊張して居ります。会則の変更は、国際協会よりの連絡をキャビネットより各クラブに伝えて周知徹底をはかりたいと思います。

又最大課題である会員増強委員会は現在の社会の経済状況が厳しくて増員がむつかしくなっていますが、C地区内のLCは116クラブ（先般のカンボジア国のプノンペンオーバイコーンLCは計算に入れない）ありますので、各クラブで質の良い新会員を1名以上さそい合せて増員をはかっていただきたい。

骨の折れることとは思われますが、是非ご協力をお願いいただきたい。新入会員に対しては会員全員で育てて早く仲間に入ってもらい、目的運営のあり方等認識不足を良く指導して活動出来るようにすれば人間関係も良くなり退会者も減ってくると考えられます。

きくところによると退会者が多く15名以下のクラブが出てきた。これに対して、リジョン・チェアマン、ゾーン・チェアマンの方々が苦勞されて、存続出来るようになった事を聞いて居ります。メンバーの皆さん、お互いに意志の疎通をはかりこれからは1名の退会者を出さないよう、ご協力をお願いいたします。



国際協調・国際交流・青少年指導について

地区青少年指導・国際協調
交流委員長
L. 望月武峰

20世紀もあと2年、その間第二次世界大戦、そして朝鮮動乱・ベトナム戦争・湾岸戦争と激動の20世紀そのものでした。その後世界では第二次世界大戦以後多くの独立国家を生み冷戦も終わり、世界平和を願いつつ21世紀をむかえようとしている今日現代、いまこそ国際協調を唱えるときではないでしょ

うか。国際協調を目的とするライオンズクラブ国際協会の各種根底には、人種や文化的背景などには大きな相違はあっても人間はみな、人類と言う同じカテゴリー（同じ性質のものが属する範囲）に属するものであるという信念が、確固として存在する。国際協調とは、人類共通の福祉のために働き、それを通して個人の存在を意義づけ、全人類に対する同胞愛を育成して行くことである。

ライオンズクラブは世界各地に存在し、これらのクラブを通して、ライオニズムは常に国家間の平和に基づく人類の協調を主張し、そのために努力を重ねてきた。『我々は奉仕する』というモットーは奉仕に示されるライオンズたちの思いやり、関心、同胞愛、人道主義にいかなる制限を加えるものではない。

国際協調プログラムの実施を成功させるには、まず第一に人類がもつ偉大な多様性について深く理解する必要がある。世界の国々及び人々のもつ相互依存関係を自覚し異なった人達がもつ異なった問題を認識して、さらに国際組織を活用し国際協調の促進に偉大な貢献をなすことができるという信念のもとに、ライオンズクラブ国際協会はその目的第一項で『世界の人々の間に相互理解の精神をつちかい発展させる』と述べている通り、各々ライオンズクラブ及び個々の会員が国際協調を実現させるべく全力を尽くすべきものであると思います。



Youth Outreach
青少年指導奉仕

次に国際交流に入ります。ライオンズクラブは国際協会と言う名称が示すとおり組織は国際的性格のものであり、生活・文化が違います。我々は国際協調を理解し益々国際交流が盛んに成るよう努力すべきではないでしょうか。『LCIF』そして『YE』こそ国際交流の代表的事業です。

第3に青少年指導について述べさせてもらいます。日本の社会において限りない『愛』が見えてくる。但しそれは自分のみが良ければ良いという、エゴイステックな愛にかたむきがちだ。多様な形の溢れる程の『愛』がいまの青少年を歪めている。子供たちは責任と義務を教えられる事なく、自由と便利さを享受し続け、全ては個性だ、差別はいけないという価値観の下で結果としての平等を保証される。

日本の教育はなぜかくも無惨な状態になってしまったのか、エスカレートする一方の少年・少女の犯罪を前に、大人たちは、ただおろおろするばかりだ。悪しき平等主義に囚われ、自由と権利の意味をはきちがえ、人間社会のルールと規律を指導することこそ、我々大人たちの責任ではないでしょうか。

『子供』は親の背を見て育つという諺のとおり、誰・彼の責任を問うまでもなく家庭の正しい愛情による教育そして指導が大切だと思います。ライオンズ国際協調・交流・青少年指導プログラムでは、健全指導をいかにやるべきかを努力しておりますのでメンバー各位のご協力を宜しくお願い致します。



地区 YE 委員長

L. 秋葉 琢磨

今日本の経済は超不況の状況下であり、少産化、高齢化、国際化も著しい。今若い世代では携帯電話、

E-mail、英会話は必須の条件になっており、大学生、事業所においては積極的に海外留学し学んでいる。中には大学を休学したり、事業所を転職し、夫妻にて英会話を学ぶため留学しているケースも数ある。留学でも英国は本場だけあり、高額だが、アイルランドとなると比較的一般の人達でも楽しめる留学費である。日本語を話す人は1億2000万人、しかし英語は8億7000万人であり、世界会議用語は英語が公用化されている。中国語は15億人いるが、今の文化度では英語圏には勝てないが、将来は…。

時代を担う LEO、YE には先行投資の Lions Club



Youth Exchange Program

YE プログラム

過去 10 年間の実績

全日本	'88~'89	'89~'90	'90~'91	'91~'92	'92~'93	'93~'94	'94~'95	'95~'96	'96~'97	'97~'98
派遣人員	770	691	749	691	668	584	699	702	679	648
来日人員	547	459	429	392	490	474	414	393	458	439

1998 ~ 99 年度海外交渉通信窓口一覧

複合地区	交 渉 先				
330複合地区	MD4	ノースダコタ	タイ	香港	ハワイ
331複合地区	アラスカ	メイン			
332複合地区	オクラホマ	テキサス	コロラド		
333複合地区	イリノイ メキシコ ネパール	ミズーリー アーカンソー インド	ネブラスカ ポーランド	ユタ ハンガリー	サウスダコタ フィリピン アルゼンチン
334複合地区	ドイツ フィンランド ギリシャ	イギリス スウェーデン スペイン	フランス アイスランド ポルトガル	スイス ベルギー イスラエル	デンマーク オーストリア エストニア
335複合地区	アラバマ アルバータ インドネシア	アリゾナ ニューヨーク 韓国	フロリダ オレゴン オーストラリア	アイオワ モンタナ ニュージーランド	アイダホ ペンシルバニア ニュージーランド マレーシア
336複合地区	コネチカット	マサチューセッツ	台湾		
337複合地区	ジョージア	カンサス	ミネソタ	ウェストバージニア	ウィスコンシン シンガポール

の大きな事業であり、期待度も大きい。

次に自己のYE生を扱った体験を記してみよう。約10年前後昔話になる。カナダ・フランス2人、ドイツ・USA2人、ハンガリーの各YE生を扱った。いづれも夏期である。必ず私の方よりWelcomeの手紙を出す。stay weeksのoutlineの説明、そして毎日の生活が始まったら、その日の朝に一日のscheduleを再度本人に手渡す。食物の好き・嫌い、恋人は居るか否か、日本で何を特に学びたいか、電話はダメ、毎日両親に手紙を書く、日記をつける、自国の自慢料理を作ってもら、日本の学校見学をしてみる等、彼等は何もが印象的である。歴史、文化、生活、経済、日本の全てを習んでもらい、宣伝してもらおう。交流は広がる。



クラブ会員の維持

地区長期計画・指導力
育成委員長
L. 野口 精治

今期、地区長期計画・指導力育成委員長の大役のご指名を受け、その責任の重大さを痛感し、身の引き締まるおもいであります。

昨今、日本経済の先行き不透明の中、景気低迷に強い不満を持ちながら、一日も早い景気回復を願う訳でございます。

地区長期計画・指導力育成委員会には、委員長経験者諸先輩ライオンの皆様の、多数のご意見、ご要望があると思っておりますのでご指導の程お願い致します。

●クラブの退会防止、現状維持、会員増強について
今の社会情勢を見ると、会員の現状維持は大変です。退会者を防止し、会員の増強をすることは難しいかもしれませんが、ライオンズクラブは常に会員増強することが、ライオンズのモットーである“ウイサーブ”の精神を社会に広める最良の方法であるということです。

●新入会員研修について

新会員が入会したら、早期にクラブの現状と基礎的なライオンズについて研修を行って下さい。ライオンズの目的は、組織、運営、会則等の研修又クラ

ブ活動状況や楽しい奉仕の喜びと感動を覚えることを教え、会員としての誇りを持つよう指導しましょう。

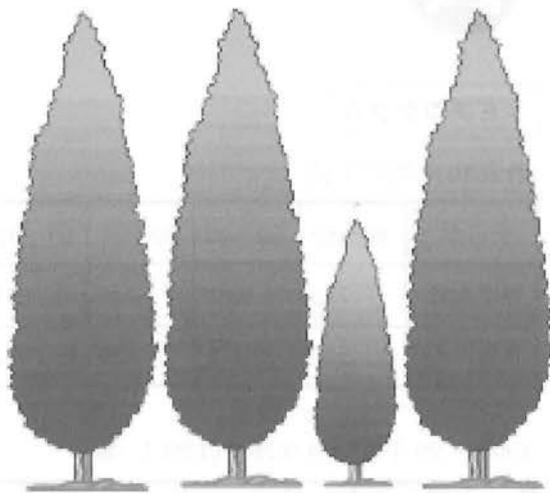
●ACT経費の削減について

国内の景気低迷の中、金銭ACT事業費の削減をし、地域に密着した労力奉仕活動を行いましょ

●出席率向上について

出席率はクラブ運営を計る一つのバロメーターといえます。使命感と参加意欲を持って出席するよう努力され出席率の向上に努めて下さい。

メンバーの暖かいご協力とご指導をいただきながらガバナースローガン『高めよう 愛と知性と心で奉仕』にそって、微力ながら精一杯努力する所存でございます。



地区環境保全・災害
対策研究委員長

L. 小原 松五郎

今年度、地区環境保全・災害対策研究委員長を仰せつかりその責務の重大さを痛感致して居ります。

環境保全対策は大変巾広く各種問題を多くかかえておりまして、地球上に生存している人間がこの問題に責任をもって対処して人類全体の福祉の向上のため自然環境を保護し、維持していくことが極めて

重要であることを認識しなければならないと思います。

人と自然が共生する環境づくりの為、一般市民、地域社会、企業が行政機関との連携のもとに協力し美しい地球を次の世代に残すため、ライオンズクラブも共に努力せねばならないと思います。近年、我が国はもとより世界各国で環境問題が大きく取り上げられて居ります。土、水、大気の汚染防止等、身近な問題から取り組まねばなりません。



Environmental Services

近年特に二酸化炭素 (CO2) の大量放出による地球の温暖化をはじめとし、フロン的大量放出により発生するオゾン層の破壊、又廃棄物処理から発生するダイオキシン・熱帯林の減少等、すべて我々人間の生活が原因で発生せしめた結果であり、今こそ我々が現在の生活環境を見直し環境保全の立場から、考え直さなければならぬ時であり、21世紀に生きる子孫にこの地球をどのような形で引継ぐか、責任は大きいと考えられます。

そこで環境保全災害対策研究委員会の活動方針としましては、各クラブの地域性や状況を考慮して継続的な運動を推進して頂くようお願い申し上げます。

- イ. 道路、公園、緑地帯などのクリーン作戦
- ロ. 植樹、花いっぱい等に緑化美化運動の推進
- ハ. 河川、湖沼、海岸等の清掃運動
- ニ. 空き缶、タバコ、ゴミのポイステ禁止、ゴミの減量、リサイクル運動の推進

以上、身近な自然破壊を守る運動を地域住民と協力し合って実施して頂きたいと思います。又災害については、連絡網の整備を的確な対応が出来る様進めます。



地区 LCIF 委員長

L. 小林 利弘

崇高な奉仕の精神を掲げて活動する、ライオンズ

クラブの一員として20年間に過ぎようとしております。90年代初めからのバブル崩壊による日本経済の情勢は昨今ではデフレスパイラルに突入しようとしております。私の少ない経験から言ってもライオンズクラブの活動は、当時の経済情勢に大きく左右されているように思われます。景気の上昇時には会員数も増加するし、下降時には退会者も多く出る傾向があります。

しかし、先人達は社会、政治、経済等の情勢変化に対応して今日までライオンズ活動を維持、継続、発展させて来たわけですから、私どもも、それらに学ぶべきことは多いにあると思います。

LCIF 献金は義務的なものではありません。崇高な奉仕の精神に賛同するメンバーが自らの意志で財団に献金しその運営をまかせています。まかせているからにはその報告があつてしかるべきですが、一会員としてはライオン誌にたまに掲載される LCIF 関係の記事にしか、その情報に接する機会がありません。先日、私に送付されてきた資料の中に数年前の集計ではありましたが、LCIF が各地に寄付した金額、送付先、理由等が記載されたものがありました。そういう情報をメンバー各個人が得ていれば、LCIF に対する理解度も更に増し、献金者も増加するものと思われれます。

今年度は、メンバー各位の LCIF に対するご賛同を更に頂けるよう頑張る所存でございますのでよろしくお願い申し上げます。





地区薬物乱用防止・献血
推進委員長

L. 畝本 昌介

今日も運動の継続を

1. 国連麻薬乱用撲滅の10年(1991年～2000年)
2. 薬物乱用防止5ヶ年戦略(1998年～2002年)
3. 10月8日ライオンズ・デーを中心とした麻薬覚せい剤禍いっせい撲滅運動(10月～11月)

代表的なキャッチフレーズの使用

- 忍び寄る魔の手 覚醒剤を迫放しましょう。
- 甘い言葉に誘われて…覚醒剤の白いわな。
- あなた人間やめますか。
- 「ダメ。ゼッタイ。」

「4つの目標」

1. 中高生を中心に薬物乱用の危険性を啓発し、青少年の薬物乱用傾向を阻止する。
学校における防止対策は、中高生徒から小学児童への…低年化の現状を教師と父兄は認識し彼等の心のゆらぎに思いを至してほしいものである。
2. 世の社会環境をきびしく理解し巧妙化する密売方法に的確に対処し、暴力団、一部不良外国人の密売組織の取締りを徹底する。
各地域の警察署、保健所、その他民間ボランティアなどの関係機関との連携が重要になる。
3. 密輸を水際でくい止め、薬物の密造地域における対策への支援などの国際協力を推進する。特にアジア諸国等への取締り協力、国際協力プログラムとしてアピールする。
4. 薬物依存、中毒者の治療と社会復帰を支援し、再乱用を防止する。

以上の4目標は本年橋本前総理提案による薬物乱用防止5ヶ年戦略であることに意を留めたい。

次回各クラブ担当者(2～3名)によるC地区全クラブの研究會と各クラブの実施プログラムをご検討いただきたいと願っている。

WE SERVE !

国連麻薬乱用撲滅の10年(1991年～2000年)
United Nations Decade Against Drug Abuse

「ダメ。ゼッタイ。」普及運動

麻薬・覚せい剤・大麻・シンナーの乱用をなくそう。



愛する自分を大切に
Yes To Life, No To Drugs.

尾崎沙也

今年度国際麻薬乱用撲滅デーの
イメージポスターより



地区献眼、視聴力保護、言語
障害、盲人福祉、糖尿病教育、
アイヘルス委員長

L. 椎名 益男

1925年第9回LC世界大会でヘレンケラー女史が「ライオンズよ暗闇と闘う盲人の騎士たれ」と特別講演をされてから、今やLCは歴史的に視力保護への貢献で広く知られて居ります。献眼による角膜移植(アイバンク)、白内障の手術をはじめLCIFを介しての発展途上国での医療援助、また、アメリカ、日本等の先進国でも失明が急増し、糖尿病網膜症と緑内障の早期発見、早期治療を促すアイヘルスプログラムが最近LCIFからの資金により活発に行なわれて居ります。

今までのLCの視力ファーストアクティビティの中で忘れられていた項目の一つが1996年1月に難病の指定を受けた網膜色素変性症(RP)でございます。この病気は1994年5月千葉大学眼科安達恵美子

教授を中心に国際網膜色素変性症協会の日本支部として設立された日本網膜色素変性症協会 (JRPS) によってフォローされて居ります。アイバンクも、アイヘルス活動 (糖尿病網膜症、緑内障) も、途上国での援助も、網膜色素変性症も、視力障害を持つ人々の福祉も全て全視野に入れた視力ファーストアクティビティとしてお考え頂けたら幸甚に存じます。

LCメンバー、ご家族、一般の方々の献眼に対するご理解 (献眼頂いた昨年度の物故ライオン333-C地区0名、B地区2名、A地区10名)、糖尿病網膜症、緑内障、白内障の恐ろしさの啓蒙、途上国での失明予防、また網膜色素変性症についてのご理解、精神的・労力的ご支援と啓蒙等々個々のLCが出来る範囲の項目について、いつも心に留めておいて頂きたく存じます。

本当は医師が啓蒙しなければいけないのですが、なかなか思うにまかせずLCの皆様のお力をおかりしたいと思います。例会で年何回かメンバー又はゲストによる眼の疾患また恐怖の糖尿病に関してのスピーチ、そして一般の皆様を含めて啓蒙活動としての講演会まで開催して頂けますれば最高と存じます。どうかよろしくお願い申し上げます。



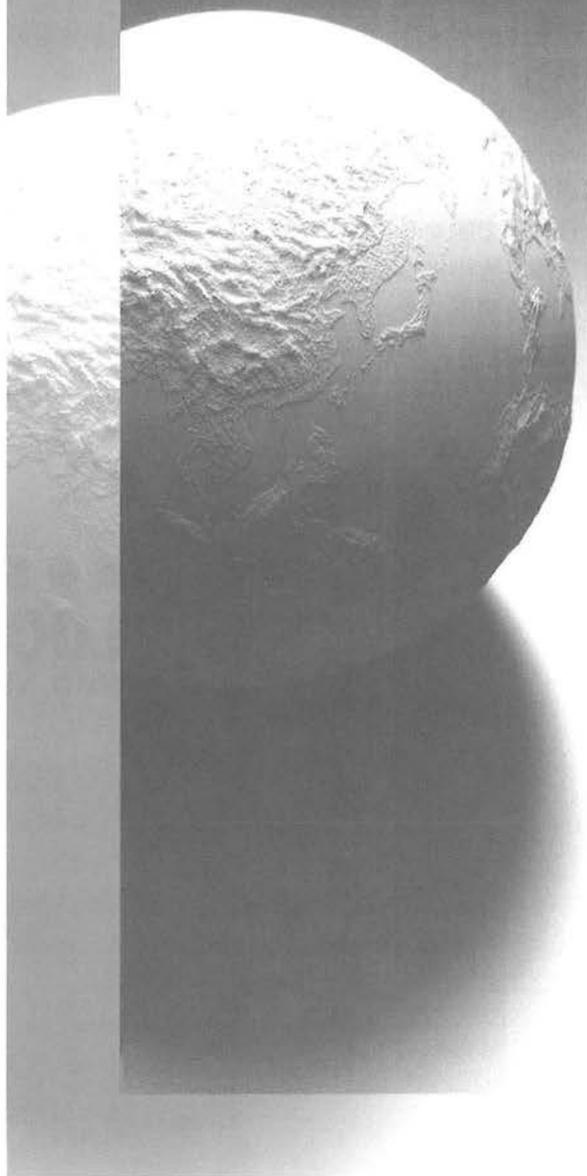
地区運営特別委員長

L. 飯塚 信一

一年間、キャビネット幹事として、333-C地区の運営にあたって来たが、無我夢中の一年間であった。自分なりに、自分の能力の範囲で精一杯頑張っ
てやって来た積もりではあるが、地区内すべての会員の皆様に、充分納得いただけなかったと思う。笹本キャビネットの地区運営特別委員長として、不十分であった分について、出来るだけ補足していければと思っている。

ご支援、ご指導の程よろしくお願い申し上げます。

The Lions Club
The Heats up Asia
Hea in 1998
in 1





第37回 OSEAL フォーラム 横浜大会の参加依頼

地区会員大会参加
委員長
L. 楠岡巖

フォーラム・テーマ “Look and Feel Asia Who NEEDS THE BORDERS?” (アジアをみつめ、アジアを感じよう。心に国境はない)

21世紀を目前に「会員ひとりひとりがアジア各地で果たすべき役割は何か」を提起するフォーラムの実現を目指し、会期最終日の28(土)10時～16時まで参加者とアジアを代表するNGOならびにNPOグループが21世紀に向けての青少年問題をテーマにシンポジウムが開催される。

タイ国出身のハバナナンダ国際会長は、フォーラムの質を高めよう、かつ低予算で開催するよう要望された。

333-C地区内116のクラブやライオネスクラブにはフォーラム組織委員会より、パンフレットと申込書等が送られている。

日本国で開かれるのは7年に1回、千葉県内からは日帰りも出来る、日本第2の都市、人口333万人を擁する横浜です。台湾2000名、韓国1000名、フィリピン500名、香港・マカオ100名、シンガポール・

マレーシア・ブルネイ300名、タイ国300名、グアム50名、モンゴル・その他で20名、日本の参加者15,000名、合計19,270名を予定しているが、アジアの通貨危機から経済の混乱停滞が長引いているので、アジアからの参加者は集まらないと組織委員会では頭を痛めている。

333複合年次大会で元国際理事、加藤正見Lは例会振替で参加をお願いしたいと話された。多くのメンバーのご参加、登録下さいます様お願いいたします。

開会式

日時 1998年11月27日(金) 14:00～16:00

場所 横浜アリーナ

閉会式

日時 1998年11月28日(土) 18:30～20:00

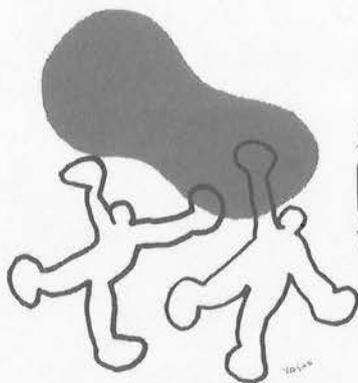
場所 パシフィコ横浜メインホール

登録料 10,000円(4ヶ国語、同時通訳受信FMラジオが記念品)

申込方法キャビネット事務局より案内が発送されるのでクラブで参加者をまとめて333-C地区キャビネットへFAX又は手紙で申込む。

申込期間 1998年9月30日

申込金の送付 333-C地区キャビネット事務局
交通は快速電車で千葉駅から1時間30分ぐらい、桜木町駅下車ウォークウェイ(動く歩道)で徒歩12分。



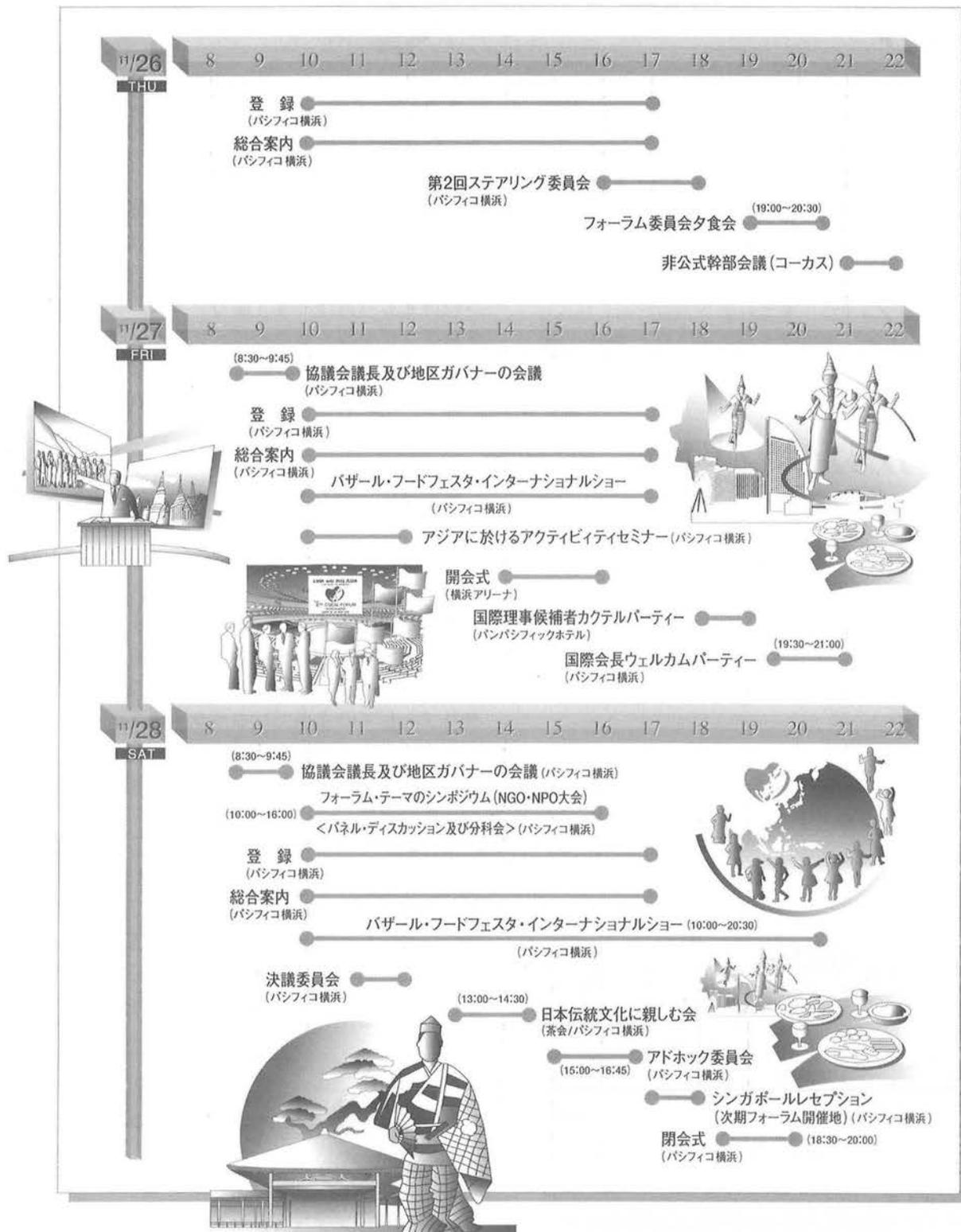
成功させよう横浜フォーラム

LOOK AND FEEL ASIA
WHO NEEDS THE BORDERS?



The 37th **OSEAL FORUM**
YOKOHAMA
JAPAN 26-28 NOV. 1998

第37回オセアルフォーラムが、 多様化を遂げた国際都市横浜で開催されます。



第37回オセアルフォーラム案内パンフレットより引用



地区年次大会委員長

L. 長谷川 一吉

第45回 333 C地区年次大会は1999年(来年)4月18日(日)に市川市文化会館で開催されます。年次大会については、多くのメンバーのご意見に耳を傾け笹本ガバナーのご意向もふまえて、大会テーマ並びに基本方針について申し上げ、皆様方のご協力をお願い申し上げます。

年次大会テーマ = 「ハーモニー」

K.K.ハバナナンダ国際会長のテーマに則り、調和と拡張のある年次大会を目指して。

HARMONY

基本方針

1. 新たな視点より「共に学ぶ年次大会づくり」取り組んでいきたい
2. 簡素化、スリム化に心がけるが、質と内容のあるものにしたい
3. 来て良かったと言われる、感動のあるものにしたい

以上地区年次大会の開催に当たり抱負を申し上げます、大勢のご参会を1リジョンホストクラブ共々お待ち申し上げます。



第44回地区年次大会リハーサルにて



地区LS委員長

L. 鈴木 実

女性のライオンズクラブが誕生している中で、333複合地区のライオネスクラブは、依然、健全で素晴らしい活動を展開しています。

これはスポンサークラブだけでなく、地区ニュース読者のライオンズ諸氏にも周知の事実です。

ライオネスクラブの位置づけを考える時、ライオンズクラブの単なる一委員会としてのみならず、一つの自立した責任ある「協力クラブ」としてライオネスクラブを認めるならば、ライオンズクラブの良き理解者、また協力者として、共に社会奉仕のために惜しみなく、その力を発揮してくれることでしょうか。

昨年度は、333複合地区・ライオネス委員長の御尽力で、ライオネスクラブ活性化のフォーラムが、2回も行なわれました。メンバーによる積極的なパネルディスカッションでは、ライオネスクラブのあり方を真剣に求める声が高く、このフォーラムの結果は333複合地区・ライオネス委員長を通して、ガバナー協議会に伝えられることになっています。協力クラブとしての立場で行なうライオネスクラブの社会奉仕活動を実現させ成功させるかどうかは、各地区、また各クラブのライオンズの理解と指導力にかかっています。

女性のライオンの道もありながら、敢えて協力クラブの立場を選び、活躍しているライオネス達が、C地区には11クラブ、223名もいます。複合地区では62クラブ、1,879名もいるのです。このライオネス達の情熱と活動力をまとめ、より良く展開させる事が、我々ライオネス委員会の役目だと思います。



Lioness Club Program

今期目標：ライオネスの地位の確立と向上。

具体的には

1. メンバーの質の向上の為の勉強会
2. 地区LSCニュースレター作成
3. LCへのアンケートをもとに、LCとのより良いコ

コミュニケーション

4.LSCパンフレット作成で地域社会へのPRとメンバー増員

良識あるライオン諸氏の協力をお願いします。



レオクラブの結成を
ひとつのゾーンに少なく
とも一つのクラブを

地区 LEO 委員長
L. 岡田 真光

ライオンズクラブのACTは近年、金銭的奉仕よりも労力的奉仕へ、福祉的ACTよりも社会教育的ACTへ移行しています。

国際本部はすべてのライオンズクラブが主要奉仕活動に青少年育成を必ずとり入れるよう願っています。その中でも特にレオプログラムをとり入れるように指導しています。レオプログラムは、未来への投資であり、青少年育成は世界のどの地域社会や国にとっても未来であり、彼らが費やす時間と努力を通してライオンズは明るい未来を確実なものにします。我が国では、ここ数年筆舌に尽くし難い少年少女のいたましい事件が起きています。

このような世相にあって、奉仕の精神あふれる我々ライオンズが青少年の育成に力を入れずに、他に何に力を注ぐのでしょうか？



Leo Club Program

333一C地区の歴代のレオ委員長は、20年間一貫して、ひとつのゾーンに少なくとも一つのレオクラブをと訴え続けて来ました。今こそ実現すべき時期です。

その為には、C地区でYE事業が発展した様にYE同様各リジョンに1人の地区レオ委員を配置して頂きたい。

次にレオクラブの結成方法としてはまず、会員の入会ですが、レオ会員の半数以上は、スポンサーライオンズクラブの子弟や、親族を入会させて欲しいことです。確かに、国際協会では人種、性別、国籍に関係なく入会出来ると定めていますが、私の個人的な意見を言わせて頂きますと、レオクラブ運営上

スポンサーライオンズクラブの子弟がいた方がスムーズに行くことは間違いのない事実としてあります。

なるべく皆さんの子や孫、甥子、姪子さんなどをレオクラブに入れて、できることならその子達にクラブのリーダーとしてレオクラブを牽引してもらった方が、初期の頃は成功します。ある程度、軌道に乗ったら徐々に一般の子供達を入会させていった方が良いと思います。

レオクラブを作るのは非常に簡単です。ただし、継続させていく事は、生半可なことでは決してうまく行きません。ライオンズクラブの運営よりも忍耐と情熱が必要となります。子供達に愛情をもって臨んで下さい。

こういう時にこそ我々はレオの子供達と共に汗を流し、共にACTに精を出し、わが子の成長を楽しむようにレオの育成に力を注ぐべきだと思います。それによって我々ライオンも多くをレオから学びとることが出来ると思います。又運営上の一考として、結成されたレオクラブは、ゾーン単位で助成したら良いと思います。

最後に日本全国的に見ると、年々レオクラブは減少の傾向にあります。しかし333一C地区だけは着実に発展をしています。皆様より一層のご理解と御協力をお願い申し上げます。



銚子中央レオクラブ「ダメ。ゼッタイ。」普及運動風景



視力ファーストのページ

ライオンズクラブのメイン・アクティビティ
視力ファースト (広義のアイヘルス)



地区献眼視聴力保護・言語障害・盲人福祉・糖尿病教育
アイヘルス委員会 98～99
年度委員長

L 椎名 益男

1925年、オハイオ州セダーポイントで開催されたLC第9回世界大会ヘレンケラー女史が「ライオンズよ、暗闇と闘う盲人の騎士たれ」と特別講演されてから、今やライオンズクラブは歴史的に視力保護への貢献で広く知られており、日本のLCにおきましても「視力ファースト」は主要なアクティビティになっています。

献眼による角膜移植、また、医療体制の遅れている発展途上国では白内障の手術を始め、LCIFを介してのLCの医療援助により沢山の人が失明の恐怖から救われております。

また、一方、アメリカや日本等の先進国でも最近著しく増加している糖尿病網膜症と緑内障の早期発見と、早期治療を促すキャンペーンが行われております。

今までLCの視力ファーストアクティビティの中で忘れられていた項目の一つが、網膜色素変性症です。日本人は島国的なのでしょうか、特に遺伝的と言われる眼の疾患に対して偏見がある民族であるこ



視力ファースト統計 (1997年10月現在)

援助金交付の承認	333件
承認された交付額	US\$66,849,549
事業実施地	5大陸の60か国
眼科診療所及び病院	47棟完成又は建設中
白内障手術	100万件以上
検眼を受けた人数見積り	600万人以上
イパーメクチンの薬の 治療を受けた人	250万人以上
訓練を受ける眼科診療員 (5年間の見通し)	1,838人

とは、作家、宮尾登美子さん原作の「蔵」(毎日新聞社刊)のヒロイン烈さんがこの病気で苦悩されたことからもお分かりのことと思います。

遅れ馳せながら、国際網膜色素変性症協会(IRPA)の日本支部として、日本網膜色素変性症協会

ライオンズ倶楽部のメイン・アクティビティ 視力ファースト (広義のアイヘルス)

- 角膜疾患・・・・・・・・・・角膜移植・・・・・・・・・・献眼：アイバンク
(円錐角膜、メロン状角膜ジストロフィー)
- 糖尿病網膜症 ・・・・・・・・ライオンズ・アイ・ヘルス・プログラム (L.E.H.P)
- 緑内障
- 白内障
- ビタミンA欠乏による角膜軟化症 ・・・・・・・・ライオンズクラブ国際財団 (LCIF)
- 細菌性・ウィルス性角膜疾患
- 網膜色素変性症・・・・・・・・・・日本網膜色素変性症協会
JRPS (Japanese Retinitis Pigmentosa Society)

↑ 3年間

(J R P S) が 1994 年 5 月設立され、日本も世界の仲間入りをし、その後本当に L C のご支援のお陰で、1996 年 1 月に網膜色素変性症は厚生省の難病指定を受けました。

L C メンバー、ご家族、一般の方々の献眼に対するご理解、アイバンクへの登録をしていただく為の啓蒙。糖尿病網膜症、緑内障、白内障が恐ろしい眼の病気であることを知ってもらうキャンペーン。発展途上国への失明予防のアクティビティについてのご理解。網膜色素変性症についてのご理解、特に治療法研究、患者さんの自立と職業安定のための L C からの精神的労力的支援と啓蒙等々、個々の L C が出来る範囲の項目についていつも心に留めておいて頂ければ、視力ファーストアクティビティが L C の

メイン・アクティビティとして継続できるのではないのでしょうか。

例会で年に 1 - 2 回、メンバーまたはゲストによる眼の疾患に関してのスピーチ。そして一般の皆さま向けの啓蒙活動としての講演会まで開催していたければ最高だと思います。因みに、日本における中途失明の患者さんは年間約 16,000 名で、その原因の 1 - 4 位は糖尿病網膜症 17.8%、緑内障 12.8%、網膜色素変性症 12.1%、白内障 12.1% とのことです。

アイバンクをはじめ、眼に関するすべての項目を総括して前ページの表のように広い意味でのアイヘルスとお考え頂けますれば幸甚に存じます。

市民のための視力ファースト活動

333-C 地区・視力ファースト講演会 開催

日時：1998年7月11日午後2時00分～4時30分
場所：千葉県医療センター1階大ホール



講演会を終えた椎名益男 L (右) と千葉大学
医学部教授 安達恵美子先生 (左) に花束贈呈

笹本瞭ガバナーの地区内最初の公式行事

1998年7月11日(土)午後2時から4時半まで、キャビネット事務局の斜向かいの千葉県医療センター1階大ホールにて333-C地区主催の視力ファースト講演会が開かれた。笹本瞭ガバナーがバーミンガム国際大会で就任され、帰国後初の公式行事となった講演会では地区委員長で千葉市医師会糖尿病を考える会副会長の椎名益男 L (千葉 L C) が「恐怖の糖尿病」、千葉大学医学部眼科教授の安達恵美子先生の「眼の疾患と失明」というテーマでスライドを交えた貴重なお話を聞くことが出来た。

視力ファーストの「ファースト」がいけなかった！！

・・・「一般市民にライオンズ用語を使うのは危険」という教訓

当日の一般市民の参加者は約200人。暑い晴天の土曜日で、会場にはやや空席が目立った。参加者が予想より少なかった理由として、講演会直前に国際大会参加のためキャビネット事務局がお休みだったことが挙げられるが、もう一つ重要な教訓が隠されていたようだ。

今回の講演会では一般向けに千葉市の「市政だより」を通じて呼びかけをしたが、標題が「視力ファースト講演会」だった。これでは一般市民は何のことかさっぱりわからない。もともと英語で「サイト・ファースト」といえば「視力を一番大事にする」「視力に関することを最優先する」という意味である。日本人もよく使う「レディー・ファースト」（女性優先）と同様の表現であるが、これは全くのライオンズ用語で市民には馴染みがない。

「視力」という言葉と内容、先生方のお名前から眼科に関連することだろうと推測しても「ファースト」がわからない。問い合わせようにも事務局がお休みで電話での問い合わせに答えることが出来なかった。

やはり市民に呼びかけをしたり、PRするときにはライオンズ用語を使うことは危険だという教訓を体感させられた講演会だった。

先生方のご講演が、具体的な映像を用いて「病気の怖さ」がよく伝わる「非常に分かりやすい」素晴らしいものだっただけに、「分かりにくい」題名のために参加できなかった市民がいたと思われることが残念だ。

「恐怖の糖尿病」

L 椎名 益男

年齢とともに動脈硬化が進展するのはいた仕方ないことですが、この動脈硬化の進展を少しでも先送りすることが出来れば、質の高い健康な生活をエンジョイ出来ると言われております。

動脈硬化が進行しても、私たちは自分の動脈を眼底の動脈でしか見ることができません。まったく自覚症状がないのが曲者で、10年、20年後には恐ろしい病気、例えば狭心症、心筋梗塞、脳卒中（脑梗塞、脳出血）が発生し、命取りになることがあります。そのため糖尿病は「サイレントキラー（無言の殺し屋）」と呼ばれております。

動脈硬化を進展させる危険因子には、糖尿病、高血圧、高コレステロール血症、高尿酸血症、喫煙、肥満、ストレス、運動不足などがあります。

いわゆる成人病を、厚生省は「生活習慣病」と呼び名を改め、私たちの不摂生のために成人病が発症すると言っておりますが、やはり自分自身で注意し気をつけなければいけないのでしょう。

アメリカがくしゃみをすると日本が風邪をひくと申します。私は10年前、平井ガバナーの時に333-C

地区の全クラブの会長、幹事、会計の三役がお集まりの席上、エイズと糖尿病のお話をさせていただきました。当時、糖尿病はアメリカでは大問題になっておりましたが、日本では対岸の火事的な感じでした。

ところが、現在日本では境界型も含めれば、40歳以上の10人に1人が糖尿病とのことです。糖尿病は単に尿に糖が出るのではなく、動脈がおかされて糖尿病網膜症（年間約4千5百人が失明）、糖尿病性腎症（年間約8千人が新たに人工透析に移行）、血管障害として動脈硬化が著しく進行し、心筋梗塞、脳卒中、糖尿病性神経障害も加わって、皆さんがよくご存じの村田英雄さんのように糖尿病性えそ、さらに足の切断となることもあります。村田英雄さんは心臓、足、眼と実に6回も手術を受けているとのことです。

糖尿病を始め、成人病の恐ろしさを医師が一般の皆さまに啓蒙しなければいけないのですが、なかなか思うに任せませんので、LCの皆さまのお力添えにより啓蒙して頂きたい心からお願い申し上げます。





クラブ活動のページ



1 R

市川LC

会長 L. 神戸 征男

式場隆三郎生誕百年記念展を後援

千葉県ライオンズクラブの産みの親といえる故式場隆三郎L（東京LC）の生誕百年を記念する展示会が去る7月1日から8日まで来年4月に地区年次大会の会場となる市川市文化会館において開催されました。

式場隆三郎Lは333-C地区初代ガバナー 式場俊文夫（しずお）Lの兄上で1960-61年度東京LCのエクステンション委員長。いくつかの都市で結成準備を進められ、1961年2月1日、ご自宅のある市川に県内最初のLCを結成されました。

隆三郎Lは精神科医で医学博士、バラ園で有名な式場病院の創設者で山下清の放浪を描いたテレビドラマ「裸の大将」に登場する「先生」その人です。

山下清を世に出したことがばかりが有名ですが、実

今年の地区ニュースは発行回数を減らして予算をPRに振り分けた結果、クラブの活動状況報告の掲載が時期を逸する恐れがあります。時期がずれていても意義ある記事とするためには「ただ〇月△日に××の場所でやったことの報告」ではなく、以下の点を参考にまとめて投稿していただければ幸いです。

2号は来年1月末に発行の予定ですのでご協力よろしくお願い申し上げます。

- 事業の歴史
- 工夫した点やうまくいかなかった点
- 現状と将来への展望
- 参加した感想
- 事業の中でのエピソード
- 活躍されたメンバーの紹介など



記念誌「式場隆三郎とその時代」より転載

際にはゴッホ、ロートレックの研究者として有名でした。また、「白樺」同人との交流もあり、師事した柳宗悦を通じてバーナードリーチ、河井寛次郎、浜田庄司、壽岳文章らを次々に知り、民芸運動を側面から支えられました。戦後になると「長崎の鐘」の永井隆博士を支援し、フランスから松方コレクション返還運動が起こると先頭に立って実現に努力されました。

とどけ！平和への祈り！！ インドネシア大学生に奨学金贈呈

市川LCでは8年前の30周年記念事業として、貨幣価値の差(円高)を利用し、市川市が姉妹提携しているインドネシア北スマトラ州メダン市の大学生への奨学金制度を設けた。そして、昨年度までの7年間に約500万円の奨学金を贈呈し、15人の大学生を卒業させることができた。

ところがインドネシア国内の混乱が悪化し、メダン市内で死者の出る暴動が起こるなど、一クラブの事業として継続が困難になった。ちょうど奨学生全員が7月に無事卒業したが、青少年育成と国際協力の観点から市川LCでは今年度から市内の国際交流団体・市川市メダン市姉妹都市協会に対して奨学金をメダン市のIPMDセンター(奨学金会館:写真)に対し指定献金し、準公的なチャンネルを通じて先方に贈呈していただくことになり、8月27日に今年度の奨学金として25万円贈呈した。

昨年始めまで1万円が20万ルピア程度の為替レートだったのが現在は60万~100万ルピア。

さらに日本医師会では副会長として武見太郎会長を支えるなど、日本の文化発展のために多くの業績を残されました。(記念誌「式場隆三郎とその時代」より引用)

この度、市川市の「市川市民文化賞を推進する会」によって式場Lの生誕百年記念展が開かれ、多くの市民が式場Lの業績を知ることが出来ましたので、LCの皆さまにもご紹介させていただきました。



ライオンズクラブ奨学金で卒業した
メダン市の大学生たち

金額は膨らんだが(25万円が2000万ルピア以上)親の失業などで学校へ行けなくなった子どもたちが激増している。

国がいかに混乱しても、子どもたちは絶えず成長し次世代を担っていく。私たちの「祈り」が通じることを願っている。

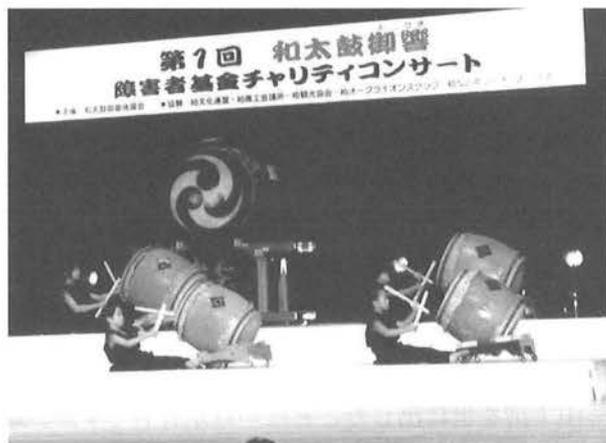
3R

柏オークLC 会長 L.日暮 新一

和太鼓「御響」チャリティコンサートを後援

柏市に小学生から25歳までの会員で構成された地域のボランティア活動等を積極的に行ない活躍している創作太鼓の会があります。

この和太鼓「御響」の会員は小学校3年生から学校卒業後社会人となった若者達で構成されている活気



あふれる創作太鼓の会です。

彼等は地域の老人達が集まる施設での奉仕演奏や柏まつりでは毎年演奏を行っており、祭りらしさを一層盛り上げてくれています。その舞踏のような見事なバチ捌きによる演奏は、地域の人々に大きな感動を与えております。何かと今、数々の問題が起きている小・中・高教育期に、太鼓の練習に打ち込んでいる彼等を見ていると、笹本ガバナーが重点施策とした「青少年健全育成」のテーマに、何か答えを見出せそうな気がします。私達柏オークLCは、このこの和太鼓「御響」の青少年達が地域の障害者への一助となる目的でチャリティコンサートを行いたいという彼らを後援いたしました。和太鼓「御響」の後援会には、柏オークLCのメンバーも多く、チャリティコンサートには約800人が来場され、盛大に行う事が出来ました。柏市長さんもお忙しいところ来場され、「柏オークLCさんはいろいろな事をされているんですね」と日暮会長に話されておりました。



た。柏オークLCは、市立柏高等学校吹奏楽への継続ACT・市内中学高等学校野球大会後援・そして地域の創作太鼓の会へと青少年健全育成に関するアクティビティとして3本の柱をもつことになりました。そして、次号でもし掲載されましたら、4本目の柱をご紹介できると思います。

5 R

千葉LC

会長 L. 原 秀巨

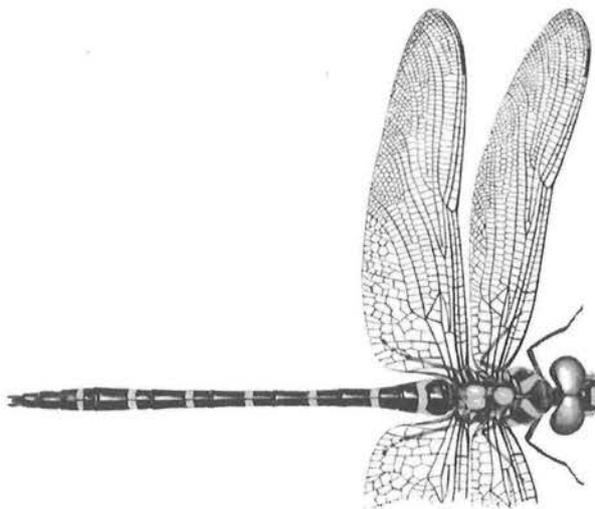
新形式の周年行事に挑戦

千葉LCは平成10年10月10日に行われるCN35周年記念式典例会の準備に頑張っております。

「A Night In Bayside」というタイトルの記念例会は、例会とトークショーとディナーショーを合体させた全く新しい企画です。

「10年10月10日。その夜、ベイサイドに集う一群の獅子たち。彼らが「We Serve」の心で創造する新たなコミュニケーション。それは大きな潮流となって新世紀へ向かう」という気合いの入ったコピーがつけてあります。

でも、獅子(ライオン)といったって尻尾やタテ



ガミがついているわけじゃない。つまりは人間です。他者と違う点は、ライオニズムが行動の起点となっているということでしょうか。ライオニズムをお互いに確認するためのコミュニケーション。これが今回の企画の基調プランです。

この例会の中に「オニヤンマを呼ぼう」という小学生の池づくり(ピオトープ)をテーマにしたトークショーと「タンポポ児童合唱団」の明るいキュートな合唱がありますが、これは記念事業の一部でもありません。

午後6時半から幕張プリンスホテルで行われます。



千葉エコーLC

会長 L. 岡崎 新

今年度のクラブ活動日程

千葉エコーLCの9月以降の活動をご紹介します。

- ①献血 一回目 98年9月10日
二回目 99年4月8日

場所：千葉駅前・ピーワン

②姉妹クラブ訪問

*韓国、果州(カチョン)LC
13周年記念式典(9月4日)

*沼田利根LC

30周年(10月20日)

*千葉京葉LC



30周年(99年4月29日)

③アクティビティ

*9月27日 少年サッカーリーグ

*11月19日 市内中学校招待弁論大会

*12月15日 盲人用点字カレンダー作成寄贈

千葉若潮LC

会長 L. 豊田 重俊

群馬太田東LCとの親睦合同例会開催

98～99年度の活動の第一弾として姉妹クラブの群馬太田東LCとの親睦合同例会が8月22日(土)太田市で開催されました。昨年は浦安市で納涼船上での合同例会を若潮Cが主催し、本年は太田市の市制50周年記念日の当日、日中は親睦ゴルフ、夕刻より合同例会懇親会、打ち上げ花火鑑賞等を行い、太田東LCのL各位と若潮からの24名Lの交流が夜遅くまで続き、有意義な親睦交流の時を持つことができました。翌23日は太田東LCの皆さんに見送られて、途中佐野大師茂林寺に寄り帰途につきました。



11月3日 親子写生大会 開催

若潮LCのメイン事業として千葉公園を会場として11月3日に「親子写生大会」を開催します。8月3日より市教育委員会の後援許可依頼、福祉局保健課に保育所・保育園の参加協力依頼、公園課に会場使用許可依頼、広報課に関係記事掲載依頼、市造形部会の山王中高村校長に協力依頼、千葉そごうデパートに優秀作品の展示依頼等数々の協力を要請し、その結果今年も千葉市民、親子約千名と若潮LCとの交流ができると確信いたしました。

献血奉仕活動として9月28日と12月(期日未定)にJR千葉駅前で、3月29日と5月(期日は未定)に幕張運転免許センターでの活動を予定しております。不足している血液を少しでも多くの人から提供して頂くよう頑張ります。

その他継続アクティビティとして千葉総武少年野球リーグをサポートしています。

千葉ゆうきのLC

会長 L. 波木 泰美

パパ・ママのための赤十字救急法スクール

開催日 平成10年4月23日(木) PM1:30~4:30

5月11日(月) PM1:30~4:30

6月1日(月) PM1:30~4:30

場所 日本赤十字千葉県支部5F

内容 乳幼児心肺蘇生法他。急病や誤飲事故に対する応急処置の実技。小児科ドクターによるQ & A。

対象 現在出産準備中の妊婦の方、乳幼児を育児中のパパ・ママ

『お子さんの同伴可能です。』という一行が最後に書かれたこともあって、3月15日付「ちば市政だより」で募集したところ130名余の応募が殺到した。当初の計画では思いもよらぬ数字であった。

主催者の日赤千葉支部と千葉ゆうきのLCは社会のニーズにあった企画の証明と喜び、スクールの増設をはかって上記のごとく3回の開催となった。成



田日赤のドクターのお話、朝野明夫講師の実技指導、真剣な若いパパ・ママ達。プログラムは順調に進む。当クラブメンバーは同伴の幼児46名程、乳児23名程の子守に励んだ。『母恋し』と泣きじゃくる孫達をなんとかあやす『おばあちゃん』の役割を果たした。老人の社会福祉が前面に叫ばれて、核家族でまごまごしている若い夫婦が取り残されているようだ。『おばあちゃんの知恵袋』的発想で始まったACTだったが、実りある頼り甲斐のある奉仕とニュースで全国に伝えられた。

6 R

下総LC

会長 L. 吉江 浄善

「利根川河川美化運動」

「社会を明るくする運動」に積極的参加

毎年7月1日より1ヶ月間、法務省主唱による「社会を明るくする運動推進月間」が実施され第48回を迎える。本年は下総町からも呼びかけがあり、7月1日午前7時より8時までJR滑川駅広場におけるキャンペーンに下総LCも積極的に参加。通勤、通学の乗降者にティッシュ、ボールペンなどの配布に奉仕した。人口8,500人の小さな町に県立下総高校があり、通学生徒および対岸の茨城県河内町の乗客ら合わせて約300人に運動のPRをした。

キャンペーンを終わって下総LCより下総町社会を明るくする運動実施委員会へ、運動推進の一助として助成金3万円を贈呈した。今後も継続的に助成



していきたい。

下総町には関東一の河川「利根川」が流れている。7月20日午前7時より8時30分までメンバー20名が参加し、周辺の町民とともに河川敷の空き缶、紙くずなどの回収、梅雨の曇り空の下、一汗流した。

成田エアポートLC 会長 L.加瀬 邦康

YE生を初めて受入れて

私の娘夫婦が仕事の関係で海外勤務となり、ロンドンに着任しました。

異国の地で苦勞をし、見知らぬ人たちに大変お世話になっているのではないかと思います。又、幸い下の娘が夏休みのこともあり、全く英語がだめな我が家族ですが、いつか娘のところ（ロンドン）へ行くことを夢みて、挑戦しました。

7月5日

成田空港へ出迎えです。

我がメンバー、松岡L、大木L、星L、飯塚Lもかけつけてくれました。当方も息子が遠方より戻り、女房、母、娘と5人です。

前日に立看板を作り、ウェルカム・トゥ・ジャパンと彼女の名前ハンナ・ロウェサルミと書いたものを高く上げていました。すると人の動きがありました。ゲートの移動です。反対側から出て来たようです。そして20人位の金髪の娘たちの集団から看板に自分の名前のある娘が一人かけ寄ってきました。

ハンナでした。(不安と期待で空港に着き、自分の名前があったので大変うれしかったとのことでした。) 急いで握手をして、声をかけました。皆握手始めです。



私は、後半のホストファミリーと言って家族を紹介しました。でも後は何も話せず、しばらく沈黙が続きました。そのうち、前半のファミリーの夷隅LCの関Lがいろいろと話かけて説明をしていました。我がメンバーの飯塚Lもいろいろと話してくれました。すらすらと流暢に会話をしていました。我が家族は遠くで見ているだけで、すぐ離れてしまいました。これで大丈夫なのか、3週間やっていけるのだろうか不安になりましたが、これから英語の猛勉強だと帰りに短期速習法の本を買って帰ろうと思いました。夷隅LCのメンバーと名刺を交換し、7/20に私の家族で引受けると伝え、彼女は大きな荷物を押しながら大多喜の方へ車に同乗し出発しました。彼女は紹介のあった時の写真とは違い、パーマをかけており、17才にはとても見えず、本当に大人びていました。その後、我がメンバーと今後



の予定等の打合せをして皆と別れました。

7月20日

待ちに待った受入れ当日です。11時大多喜城で待ち合わせです。家を出てから車内は女房と娘、私も加わって英会話と言うよりも、単語を並べてのやり取りです。英語の話せる人から見たら本当に滑稽だったと思います。そうそうに話せるようになるのはとても無理でした。あとは心で通じ合えるんだと言い聞かせ、参考書、辞書を持参で訪ねました。夷隅LCの大勢の中、大きな荷物のわきに、ぼつんと1人でハンナの姿がありました。京都、奈良へ行って昨日遅く掃り、大変疲れているとの事でした。

海岸の方から鎌倉、横浜、東京をハトバスでメンバーと一緒に大いに観光した話を聞きました。彼女の好物はチキン。結構和食も食べるが魚だけはだめ。でも回転寿司の店へ行ったなどという話をしました。それから荷物を私共の車へ積み、夷隅LCの大多喜町を後にして、銚子を回って栄町安食へと出発しました。彼女は日本語はぜんぜん話せませんでした。我々の英語の能力と同等だったと思います。もう少しホームステイ先の国語は勉強して来ていると思うのですが挨拶程度です。

ですから、全て英語での会話です。車中は自己紹介をしながら楽しく話はずみました。期待と不安が入り交じった複雑な気持ちで我が家に着きました。玄関で立ち止まり、靴を脱ぎ始めたので、少し安心しました。(外国はくつでそのまま中まで入っていく話を聞いていたので) さて、私以上に不安だったのは家内だと思います。食べる物、身の周りの事、言葉の問題等これからスタートです。皆で協力し合って3週間を楽しくやろうと決めました。いくつかの楽しい話は又あらためて書きます。

(L.高野内 勝幸)

佐倉LC

会長 L. 守田 和正

8月22日現在ではまだ事業を実行していませんので、今後予定している主事業について報告します。

①献血推進事業

佐倉LCのネームをつけたティッシュペーパーを歩行者に配布し献血を呼びかけています。献血者には記念品をプレゼント。

実施予定

8月29日	京成	佐倉駅	南口
10月24日	京成	うすい駅	南口
12月12日	JR	佐倉駅	南口
3月27日	JR	佐倉駅	南口

②ライオンズ旗争奪野球大会

佐倉市少年野球連盟の「少年の健全育成推進」の

目的を助力するため、クラブ員全員が開会式閉会式に出席し、少年たちにプレゼントを贈呈。

日時場所 10月4日～11月1日

佐倉市内の校庭、野球場

③クリスマス慰問

12月中旬、市内の心身障害児施設「さくらんぼ園」にクラブ員がサンタクロースの服装をして訪問し、一人ひとりのこどもたちにクリスマスプレゼントを手渡す。



7R

銚子LC

会長 L. 仲条 頼璋

第25回銚子秋期野球大会

我が銚子ライオンズクラブの今年度の活動予定といたしましては、銚子市秋期少年野球大会・青少年健全育成剣道大会・模型飛行機大会などがありますが、このうちの「銚子市秋期少年野球大会」についてご報告させていただきます。これは銚子市の12の小学校が出場し、野球少年たちが日頃の練習の成果を競い合い、毎年夏休み（8月）に3日間に渡り行われ今回で25回を数えます。スポーツを通じて健全な体力と精神を育て、次世代の文化と社会を担う少年をスポーツが全人的教育にきわめて大きな役割を持っていることを認識しながら全力を尽くしているところです。

さて、この大会で工夫している点は、各作業や準備などについて役割分担をしており、また、アナウンス内容などマニュアル化に努めており、当大会は野外活動のため、雨などの天候に左右され、順延な



どの役割分担などについてのやりくりが大変であった。反省すべき点については、月末開催につき、気象情報に因っては夏休みが終了しかねない日程のため、気がかりであったことである。今後の展望としては、近隣のライオンズクラブで同様の活動をしているところがあったら、優秀なチーム同士でライオンズ杯を競えたら、より輪が広がり組織の活性化を促し、ひいては活動を通じての『We Serve』が出来るような気がします。

佐原 LC

会長 L.横川 祐喜

香取学園一日海の家援助

日時 平成10年7月26日

場所 山武郡横芝町「海の子供の国」

メインアクトのひとつとなった『香取学園一日海の家援助』は、学園にとって日頃の訓練の成果を見せるための指導上欠かす事の出来ない大きな行事である。この行事に当クラブは市民社会福祉・教育環境・PR情報の各委員会とライオンテーマー、佐原ライオネスクラブの協力を得て参加出来ることに意義深いものを感じます。

園児147名にとって横芝海の子供の国という立派な施設で泳ぎ、また広々とした松原に身を休め、各後援団体の作る自慢の料理を食べながら1日を過ごすことは、園内での生活とちがい大勢の人々と触れ合い心身を鍛える絶好の機会であります。佐原ライ



オンズクラブよりは、かき氷・ポップコーン・チョコバナナと園児全員におみやげを用意し、朝8時30分 LC 27名・LS 4名・一般3名が出発するも現地到着時には無情の雨。一部の行事のみの開催でしたが子供たちはもう来年のこの日のくるのを楽しみに待っている。

我がクラブもマンネリ化せず、園児にとって欠くことの出来ないこの素晴らしいアクトを更に充実するよう努力しよう。

東庄 LC

会長 L.茂木 昭三

B29 日米合同慰霊祭と友好の集い

日時 平成9年9月24日

場所 東庄ふれあい公園、他

1944年12月3日第二次世界大戦末期米国爆撃機B-29が千葉県上空で撃墜され乗組員が落下傘で脱出しパイロットだったゴールズワージー氏が神代村(現在の東庄町神代)に降り立ち捕虜となった。

終戦まで生き延び米国へ帰ってから53年奥さんを連れて再び東庄町を訪問し当時の敵と日米合同慰霊祭を開催した。

この事業のスポンサーを東庄ライオンズクラブが引き受け、日米友好の一助を担うこととなった。事件の重大性から、当日はNHKをはじめ多くの報道機関が詰めかけ盛大に行われた。



神崎 L C

会長 L.佐藤 章

清掃作業奉仕活動

日時 平成 10 年 8 月 8 日

場所 親水天の川公園

環境美化運動の一環として、8月8日（土）の早朝午前6時から、親水天の川公園の草刈り、草抜き、空き缶拾い等の清掃作業を行いました。当日は天候にも恵まれ、しかも早朝と言うことで作業効率も上がり、広い場所がきれいになりました。

これからも年一回ではなく、2回～3回行い、ゴミのないきれいな公園にして皆さんが気持ちよく利用していただけるように努めたいと思います。



終了後、自然に包まれた公園で軽食をとり、移動例会を行いました。

多古 L C

会長 L.平山 一男

少年野球チーム親子ふれあい祭

日時 平成 10 年 8 月 9 日

場所 多古町あじさい広場

第3回親善東西対抗少年野球大会が8月7日から4日間、大阪遠征チーム11チーム、北総地区チーム25チームが参加して、成田市で開催された。

この大会は、井上裕元文部大臣を名誉顧問に、心身ともに健全な少年を育成すると共に、大阪、千葉の地域を離れた子供たちの交流を図り“出会い、ふれあい”を大切に、素晴らしい思い出の1ページを作って貰うことを目的として開かれているものである。

我が多古町からも、小学6年生を中心とした選抜チームが参加して、はるばる大阪から遠征したチームと対戦した。大阪から遠征した子供たちは大会期間中、地元の子供たちの家庭に2～3人ずつホームステイして交流を深めている。

期間中の8月9日（日）、町内の栗山川レインボーステージ前広場で、多古ライオンズクラブは、多古ナイター野球リーグのメンバーと共同で、大阪東住吉スターズ・東住吉パンチの2チーム30名と地元



チーム27名を招待して「少年野球チーム親子ふれあい祭」を開催した。

午後6時、大型貸切バスで大阪2チームの選手、父兄が到着した後、歓迎セレモニーに入り、多古L C平山一男会長が歓迎の挨拶をした後、選手全員に、多古ライオンズクラブから記念メダルを贈呈した。

その後、L C、ナイターリーグのメンバーが腕によりをかけて作った焼肉、焼きそば、おでん、かき氷などを振る舞い、少年は少年同士、大人は、遠く大阪から来た父兄の皆さんとも交流の輪が広がり、楽しい雰囲気の中で、ふれあい祭は午後8時過ぎまで続けられた。（幹事 L.富沢 賢）

大栄LC

会長 L.渡邊 清

献血ACT 日時 平成10年9月1日
場所 大栄工業団地内企業7社

千葉県は、人口急増に伴い輸血用血液が常に不足している現況を踏まえ、当クラブでは献血協力委員会が中心となり、毎年献血ACTに力を注いで参りました。お陰様で昨年度は、献血達成率で千葉県内第2位の実績を挙げることができました。本年度も第1次として9月1日・2日の大栄工業団地内企業7社を手始めとし、第2次・第3次と展開して参ります。

献血依頼先としては例年通り日栄学園生徒職員・大栄町役場での職員、一般住民・大栄病院職員・新邦工業社員等に御協力を願う事になっております。

実施当日には、当クラブメンバー10名程度で、献



血呼びかけや協力者にライオン歯磨やタオル・菓子パン等を配布し感謝の意を表します。今後も更なる献血ACTの推進に努力し、一般住民の献血に対する意識の高揚と、千葉県下第1位の献血達成率を目指してメンバー一同頑張る参ります。

干潟LC

会長 L.伊藤 節夫

平成10年度干潟町青少年の集い大会

日時 平成10年8月1日(土) 7:30~12:30
場所 干潟町立中学校グラウンド及び干潟町立中央小学校体育館

8月1日(土)午前7時30分干潟町立中学校校庭において、少年ソフトボール、少女ミニバスケットボール大会の開会式が行われ少年ソフトボール大会は中学校グラウンド、少女ミニバスケットボールは中央小学校体育館に於いて行われ、大会には少年少女約80名、ライオンズクラブ10名、先生、コーチ等が参集し楽しく賑やかな内にもきびしい試合が行われ試合終了後の晴れやかな顔が印象的でした。



試合の結果は次の通りです。

ソフトボール：	優勝	西小学校
	準優勝	東小学校
	敢闘賞	中央小学校
ミニバスケットボール：	優勝	西小学校
	準優勝	東小学校
	敢闘賞	中央小学校

青少年健全育成のためには是非必要な行事と思われます。現今の青少年の言動は大人に理解できないことが多いと思われますのでスポーツを通じて健全な身体と健全な精神を養い育てることが肝要かと思われます。尚今大会においては問題点はございません。

山田町LC

会長 L.吉野 久雄

山百合の里づくりに意欲を燃やして

我がクラブ創立15周年アクトとして、「町花」山百合の里づくりを目指し、街のふれあい公園等の施設に約3000球の山百合を寄贈し、町長菅谷Lを先頭に汗を流して植え込んで早4年になる。

毎年その育成と追加植え込みなど、クラブあげて力を注いできたが今年度はさらに町内全戸に山百合を植える運動を目指して準備とPRに取りかかっている。

青少年の犯罪が目立ち核家族の風潮から家庭内の暴力、離散につながるなどマスコミは興味本位に書きまくり、やるせない世情に青少年の健全育成の難しさを肌で感じるこの頃である。今ここにきて私共クラブの推進する山百合の里づくりが役立つことを願わずにはいられない。



山百合は野山や荒れ地を好み、かなりの悪環境にもめげず清らかな花を咲かせ芳香を漂わせ、接する人々に安らぎを与えてくれる。あの山百合のように新しい時代を背負う彼らに美しく、そして遅く育ってくれることを願って止まない。

昭和10年頃我が郷土に山倉乙女の歌が生まれ子どもたちの愛唱歌となった。「緑に匂う山倉の気高く咲ける白百合はああ我ら乙女のしるしなり」と乙女たちを山百合に託して小学校教師が子どもたちに教えたのである。

今こそこの願いを望む時代である。町主催の「山百合 星のフェスティバル 親子ふれあい祭り」が毎年山百合の咲く時期に開催されている。山百合混声合唱団も生まれ、ボランティア山百合の会も発足



して活躍している。また県下一円からも山百合を見に訪れる人たちの数が年々増え続けてまことに嬉しい限りである。この運動が地域青少年健全育成に役立つことを願いつつさらに精進したいものである。

特殊学級校外学習支援

日時 平成10年10月20日

場所 山田町干潟町

山田町・干潟町の小中学校の特殊学級に在籍する児童生徒に、自信を持たせると共に社会性を育むために、教師だけでは出来ない教育方法として、金銭援助労力奉仕を行う。

児童生徒、教師と当クラブ社会教育委員会メンバーが定期バスに乗って、旭市のデパートへ買物に行く。一人でバスの運賃を支払い少額の予算で買物をする。その感想文をライオンズクラブ宛に届けてもらう。生徒児童の学校では学べない良い思い出となる。

数年続いており、正月の餅つき会に招待されている。(L.越川 忍)



銚子ウェストポートLC

会長 L.宮内 壮明

チャリティJAZZライブ「ザ・伊予博史ショー」

日時 平成10年8月23日

場所 パレス大藤

我々は銚子ウェストポートライオンズクラブチャーターナイト記念事業の一つとして「LCIFファイブイヤー作戦」と題し、5年間でメンバー全員によるMJF1000\$献金に参加しようとお約束を致しました。

その活動の一環としてさる8月23日に「チャリティジャズライブイン銚子」と称し、銚子出身でもあるタレント、伊予博史氏を招いてチャリティーコンサートを開催いたしました。メンバー全員の汗と努力で300余名の入場券を完売することができました。当日会場となりましたパレス大藤の大ホールはアメリカンムードに包まれ、大成功を収めることが



出来ました。

新しい私共のクラブ活動もL字の下、研鑽を重ね昨今の価値観の豹変する時代の要望に応えられる足腰の強いクラブを目指してがんばっていく所存でございますので今後とも、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。(L.宮内壮明)

9R

館山LC

会長 L.中西 二二男

館山ライオンズクラブ本年度の事業計画

8月20日

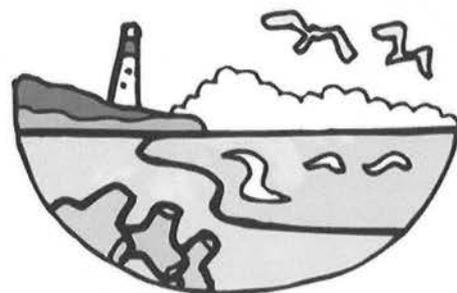
全国レベルで行われた若潮旗争奪高校剣道大会の協賛、後援。

9月

館山LC 館山北LCとの合同ミニバスケットボール大会の協賛、後援、会場、設営の手伝い等。

10月8日

ライオンズ奉仕デーに館山ライオンズクラブとしては、沼サンゴ、光り藻の広告看板立て、周辺の清掃作業など、例会振り替えで行い、午後4時よりキャビネットでの合同ACTである薬物乱用防止用のチラシ配りを館山警察署と合同で館山駅前で行う予定



です。(特に高校生)

11月

尺八、琴合同演奏会を老人保護施設で行い、終了後餅つき大会等を行う。

5月

ひかりの子学園の子供たち(小学生~高校生)約30名を地曳き網大会に招待し、バーベキュー、宝探し大会等を計画しています。

その他で日程等は未定ですが、青少年健全育成資金獲得のためチャリティゴルフを計画中です。その折には9リジョンでゴルフをやられる方々のご協力をお願いします。

館山中央 L C

会長 L.本多 忠勝

館山中央ライオンズクラブは、本年 C N 30周年を迎える事にあたり、ご参加いただくお客様に我々の真心を伝えたいと、1988年20周年記念事業として三芳村府中の宝珠院に梅を栽植し梅園として毎年手入れをしております。数年前から実を付け始め、村の人達と分け合っておりますが、今年はその実も大きく育ち記念として、おいしい梅酒を作りお客様に飲んでいただこうと会員で、梅をもぎ慣れない手つきで実を吟味し2斗の梅酒を作りました。1999年3月28日の当日ご参加者全員の方に、梅園10年の歴史を味わっていただければ幸いです。安藤村長が「探梅の里」と命名された、この梅園も会員での草刈り、夏の水かけ等愛情あふれる丹精のお陰だと思えます。「育て、育む」これは我々館山中央ライ



オンズの理念としております。青少年に対し、社会に対してもこの信念で今後の活動をしていきたいと思っております。

各クラブの主な事業 PR

「館山を緑豊かな街に」のスローガンの元に10月10日苗木を市民に配り各家庭の庭に植えてもらう。「チャリティーダンスパーティ」を11月に開催し、収益金を青少年育成基金に充てる。

館山商工会館にて「館山市・三芳村青少年剣道大会」を2月に行う。館山三中体育館にて安房剣道連盟のご協力を得て男女小学生・中学生・高校の部に分かれ個人戦と団体戦とで競う剣士にとっては目標とする大会に成長していると思う。

社会に貢献はもちろんです。館山中央ライオンズクラブは今後を担う青少年の育成ということを主に活動を続けています。

館山北 L C

会長 L.畑 良吉

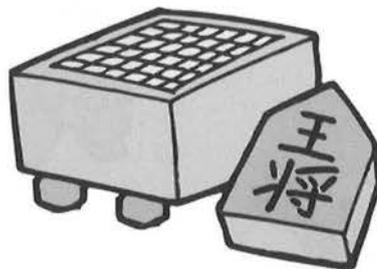
9月以降に予定されている主な行事

1、第6回ミニバスケットボール交歓大会

日時 平成10年11月1日～3日

場所 富浦町民体育館

内容 小学生約25チームによるバスケットの試合を行う



2、第2回お正月南房総小学生将棋大会

日時 平成11年1月4日

場所 館山市中央公民館（館山コミュニティセンター）

内容 小学生による将棋の試合（個人戦）

目的 青少年健全育成

房総勝浦LC

会長 L.鈴木 康之

第33回青少年のつどい勝浦地区大会

日時 7月20日

場所 勝浦市内

目的

21世紀を担う青少年が、スポーツを通じて相互の親睦と友情を深め、青少年としての自覚と誇りを高めるとともに健康な身体づくりを目指すため「青少年のつどい勝浦地区大会」を開催し、もって青少年の健全育成に資することを目的とする。

方法

種目はソフトボールとミニバスケットボールで、各地区より1チームずつの参加である。

工夫・苦労した点

特に無い。学校単位ではないので、地区の青少年相談員のご協力を得て毎年行われている。今年で33回の歴史がある。

反省点

特に無い。

今後の展望

主催団体では無いので、特に無い。



若潮祭り

日時 8月1日 19:00～21:00

場所 勝浦海岸

内容 花火の打上と盆踊り大会

目的 勝浦の観光誘客と地域振興のため

方法 1000発の花火の打上と市民によるユカタ姿の盆踊り

工夫・苦労した点

昨年までは、サンバのダンス大会を催していたが、プロの招聘に金がかかり過ぎて、その割には、盛り上がりに欠けていたので、新しい試みを模索しているところです。

反省点

準備不足は仕方がない。

マンネリ化からの脱却を試みる勇気が必要か？

今後の主な事業のPR

今年度は、CN30周年記念の年である。

【記念事業】

1、チャリティーゴルフによる収益金を、福祉事業に寄付

2、小・中学校に校内優勝旗の寄贈

3、その他考慮中

記念式典は99年5月5日に行う予定です。多数のご参加をお待ちしております。



房州朝夷L C

会長 L.石井 正明

納涼音楽祭と音楽指導

第1日目

日時 7月19日(日) 15:30～17:00

場所 丸山町シェークスピアガーデン

第2日目

日時 7月20日(月) 16:00～17:30

場所 千倉町漁村センター

音楽指導 日時 7月21日(月) 9:30～12:00

対象 和田中学校ブラスバンド部

(1) 目的

1. 納涼音楽祭 地域住民に生演奏の素晴らしさを知ってもらい、それを通して陸上自衛隊の隊員の皆様との交流を深めてもらいます。
2. 音楽指導 和田中学校ブラスバンド部の生徒を対象に普段は指導してもらえないプロの音楽家に指導してもらうことにより技術の進歩を計ります。併せて音楽隊と生徒の交流を深めてもらいます。

(2) 方法

1. 音楽祭 千倉町においては毎年、和田町と丸山町においては隔年にて音楽祭を開催いたします。
2. 音楽指導 本年は千倉中学校のブラスバンド部の活動と日程が合わず、和田中学校だけとなりましたが、隊員に生徒達へ直接指導をしてもらいます。

(3) 工夫・苦労した点

1. 音楽祭 本年は尺八演奏者でもあり、又、歌手としても活躍しております「マーク井上」様に特別出演してもらいました。

(4) 反省点

2. 音楽指導 中学校との日程操作をもう少し考慮すべきでした。



(5) 今後の展望

音楽祭、音楽指導とも来年以降も実施する予定です。

「夏休み 親と子のふれあいイベント」

日時 平成10年8月2日(日)

場所 株式会社早川敷地内

主催 株式会社早川(当クラブ所属早川L経営会現9R PR情報委員)

後援 房州朝夷ライオンズクラブ ホームー房総住宅協同組合

内容

(1) 目的

親子で木工工作をすることにより、親子が触れ合い、日頃工作に接する機会の少ない親子に木工工作の楽しさを知ってもらう。併せて木のPR活動に繋げる。

(2) 方法

- ・工作に必要な工具を無料にて貸し出す。
- ・工作材料は広く並べ、工作に必要な材料は自ら探し、その材料は無料にて支給する。
- ・工作するための参考として見本を10点程度展示する。
- ・大工が直接工作指導を行う。

(3) 工夫、苦労した点

回を重ねる度に来場者が増えるため、その対応が年々難しくなっている。

(4) 反省点 特になし。

(5) 今後の展望

一企業が行う木工教室としては限界に達した。今後も毎年実施する予定だが、来場者への対応をもっと考える必要がある。(コメント 早川L)

夷隅LC

会長 L. 渡辺 義道

国際協調活動

夷隅ライオンズクラブでは国際協調の活動の一環としてフィンランドよりの留学生、ハンナ・ロウェサルミさん（17歳）の受け入れ活動を行いました。

会員各氏の自宅にて共同生活を行い、日本文化に親んでもらうと共に房総、東京、アクアラインを通過して横浜、鎌倉など各地を案内し、親睦を深めました。夷隅町、大多喜町両町長への表敬訪問、大多喜町書道会の先生による書道特訓、京都巡りツアーなどもあり、お互いに意義深い体験となりました。

今後予定している活動

- 1、派遣YE生の募集
- 2、献血運動（4回実施予定）



- 3、夷隅都市剣道大会
- 4、植樹活動（桜の苗木100本）
- 5、結成5周年記念式典の開催
- 6、今年度重点目標である会員増強に努力（今年度15名増員）

10R

白子LC

会長 L. 上代 雅之

九十九里海岸で国際交流

去る8月2日（日曜日）第8回国際交流家族納涼大会を白子町五井海岸に於いて開催しました。今回のお客様は昨夏同海岸で偶然に知り合い打ち解けたロシア大使館の三等書記官シャポワロフ・ピクターさんをはじめとするロシア大使館関係家族41名。

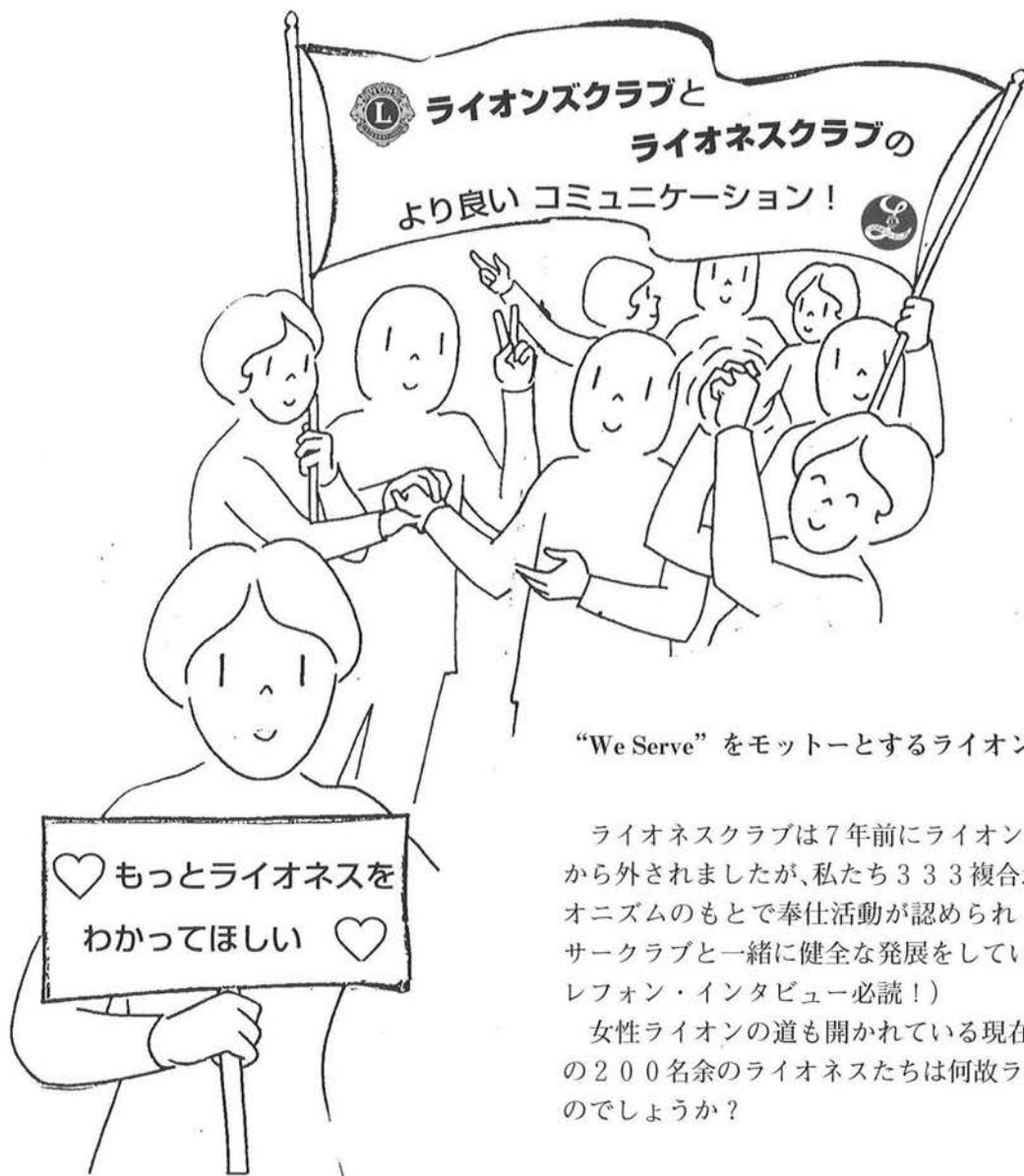
当日は朝から天気良好で、地引き網やスイカ割り



と一緒に楽しんだり、上総の国・房州太鼓の実演や当地に260年前から伝わっている手作り「函尻」（はこだこ）揚げを行いました。

当クラブメンバー家族70名を加え、地引き網の魚介類や肉をバーベキューにして食べたり、ロシア土産のウオッカやピロシキといった食文化交流もあり楽しい夏の日でした。驚いたことに子どもたちはすぐに「言葉の壁」を超えて一緒に遊ぶなど初対面とは思えない程の交流に、また来年の再会を約束して午後4時半に閉会しました。

ライオネスのページ



“We Serve” をモットーとするライオンのみなさまへ

ライオネスクラブは7年前にライオンズクラブ国際協会から外されましたが、私たち333複合地区では同じライオニズムのもとで奉仕活動が認められ(感謝!)スポンサークラブと一緒に健全な発展をしています。(次項のテレフォン・インタビュー必読!)

女性ライオンの道も開かれている現在、333-C地区の200名余のライオネスたちは何故ライオンにならないのでしょうか?

K. K. ハバナナダ国際会長の掲げる今期テーマ「ハーモニー」は私たちライオネスの目指すところです。家庭内のハーモニー、社会のハーモニーを考えるとライオンズクラブの協力機関の存在は大きいと信じているからです。女性だからという理由だけでライオネスになりたいといっているのではないのです。(会則にもあるように男性も入会可能です)

字を書くには(右利きの人の場合)「右手」でペンを持ちます。もちろん「右手」だけでも字は書けますが、「左手」で紙を押さえるとずっと書きやすくなりますね。ライオネスはこの「左手」のようなお手伝いをしながら社会奉仕にも参加でき、家族との「ハーモニー」をも保っていきたいと考えています。また、「左手」でなくてはできない仕事にも積極的に参加する情熱を持ったメンバーが揃っています。

ライオンズクラブとともに協力してライオニズムを社会に広げていきたいと(マジメに)考えているのがライオネスです。どうか産児制限なさらずにライオネスクラブのエクステンションに地区からアワードを出してください。また、ライオンズクラブのPRパンフレットにはライオネスのPRもお忘れなく!!産みの苦しみが無いとは申しませんが必ず親孝行が生まれますよ!!!

投稿:地区ライオネス委員会 委員長補佐 LS小菅あけみ

Telephone Interview

333地区 11クラブに聞きました



ライオネスクラブを
スポンサーして
良かったですか？

Yes!
合同例会の
雰囲気になごやか。
出席率もUP!

Yes!
女性の持ち味を
活かしたきめ細やか
な心配りは
クラブ内外で
プラス

Yes!
お互いに助け合って
スムーズな奉仕活動
が出来る



Yes!
ライオンズ
奉仕活動の
幅が広がった!

入会して初めて
ライオンズクラブの
奉仕活動の
すばらしさが
分かったこと。
神田

ライオネスになって
うれしいことは？

年代を超えた
各方面の人たちとの
出会いと交わり
片貝、高橋、
土谷、木村

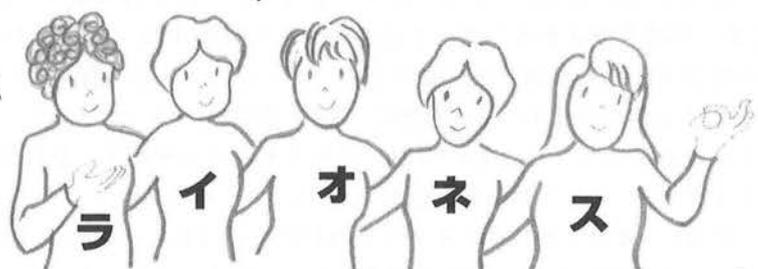
忙しい中、
貴重な時間をさして、
一生懸命
奉仕活動に参加
してくれる会員達
平島



自分を飾らずに、
フェアな立場で
クラブとして
まとまって
奉仕が出来ること
小川

奉仕活動を
通して広く地域の
人たちとの
ふれあい。
またその笑顔
大沢、伊東

同じ目的に向かって
皆でまとまって、
楽しみながら奉仕
できること
大岩、伊藤



ライオネス

ライオネスクラブ

「クロスワードパズル」

			1	ラ							イ
2	ア			イ			イ				
			3	オ	ー						
			4	ネ					ン		
				5	ス		ン				
			6	ク					ク		
		7		ラ				ン			
		8		ブ			ン				

- ライオネスクラブの会員はライオネス (LS) という。それでは、ライオンズクラブ会員の夫人は？
- ライオネスクラブではライオンズクラブに協力することだけでなく自主的に地域社会への奉仕の企画、実行も奨励されている。その活動をなんというのでしょうか？
- 年に1度、地区のライオネスクラブが集まって開かれる会合。昨年度はパネルディスカッション形式で意見交換。
- ライオンズクラブの会員並みという訳にはいかないけれど、ささやかながら事あるたびにテール・ツイスターの手を通してクラブ会計に。
- ライオネスクラブの会員になるにはこのライオンまたはライオネスが必ずいなければならない。入会後も指導・援助をよろしく
- 7年前に国際協会本部から離れたライオネスクラブは現在はここに会費を納め、報告書を送っている。
- ライオネスクラブの会員でなくても、ライオネスクラブ理事会の構成員になるライオンのこと
- 例会の定足数は、グッドスタンディングの () の過半数の出席が必要。

1. ライオネスクラブ 2. テール・ツイスター 3. ノーマーラ 4. ノーマーラ 5. スポンサー
6. ライオンズクラブ (複合地区) 7. ライオンズクラブ (連帯員) 8. クラフツメツバ

(たろこ)

ライオネスクラブ〇×クイズ

ライオネスクラブに関する次の各問の正誤（〇または×）を考えてみて下さい。

- () ①ライオネスクラブに入会するにはスポンサーライオンが必要です。
- () ②ライオネスクラブはライオンズクラブの協力機関なのでライオンズクラブから協力要請のあった活動のみをしていけばよい。
- () ③ライオンレディーでなくてもライオネスクラブに入会できる。
- () ④ライオンズクラブは男性と女性の会員がいるが、ライオネスクラブは女性しか会員になれない。
- () ⑤ライオネスクラブは、ライオンズクラブの年次大会等に評議委員を送ることはできない。
- () ⑥ライオネスクラブの地区への会費は、スポンサーライオンズクラブを通じて支払われる。



1998-1999年度						
333-C地区 ライオネスクラブ 三役名簿						
R	Z	LSC名	LS連絡員	会長	幹事	会計
2	2	流山	石塚三喜夫	神田 英子	大津千津子	矢野 恵子
3	1	柏	田中 昭雄	片貝 良子	高橋 初栄	桜井 和子
4	1	船橋中央	藤原真太郎	高橋 弓子	遠江千代子	石神 敬子
5	3	市原南	野口 孝一	大岩 照子	藤代 尚子	内藤美代子
7	1	佐原	長谷川好洋	土谷 久子	杉山 秀子	桜井 洋子
7	2	総武中央	永野 貞夫	伊藤 育代	鈴木 廣子	土屋美智代
8	1	袖ヶ浦	小泉 浩靖	大沢 憲枝	三上 石子	小泉 政子
8	1	木更津金鈴	鳥飼友季夫	伊東久美子	若林とみ枝	小林 幾代
8	2	富津	鹿島清太郎	平島 信子	阿倍野久子	石井美佐子
8	2	君津	保科 嘉彦	小川美津枝	正木 秀子	大澤久仁子
8	2	君津中央	高橋 茂雄	木村 玉恵	池田 和栄	大塚なみえ

- ① × スポンサーにはライオンだけでなくライオネスもなることが出来る。(LSC会則、第5条1項)
- ② × 協力、支持するための事業に加えて、所属する地域社会への奉仕を企画し、実行することが出来る。(第4条1項)
- ③ ○ スポンサークラブの方針にもよるが、LSCのみならず一般の会員との混成クラブが多い。また、一般のみという規定を設けているクラブもある。(第5条1項)
- ④ × 男性も会員になることができる。(第5条1項)
- ⑤ ○ スポンサークラブの管轄下にある協力機関だから。(第3条1項)
- ⑥ × 直接ライオネスクラブより複合地区に支払われる。現在333複合地区では年会費@500円。



レオのページ

快挙！初のベストレオ賞受賞！！
銚子中央レオクラブ 砂村理紗レオ

地区LEO委員長
L. 岡田 真光

この度は地区ニュースにLEOのページをいただき、心より御礼申し上げます。

さて、新年度早々、ライオンズクラブ国際協会より大変喜ばしいニュースが入って参りました。8月20日、国際理事会より銚子中央レオクラブ前会長、Leo.砂村理紗にベストレオ賞受賞者として選ばれた旨の知らせがまいりました。

この賞は各複合地区でただ一人のレオが受賞の対象となり「社会奉仕活動を通して優れたリーダーシップを発揮し、レオクラブ・プログラム及び地域社会の発展に貢献されたレオ」を表彰する国際アワードです。砂村理紗レオはC地区のLEO史上、初の受賞者となる快挙です。

銚子レオクラブは98年6月現在会員数60名。水難救済のための青い羽根募金、ゴミゼロ運動、麻薬撲滅ダメゼッタイ運動、老人ホーム慰問、孤児院の子を招待しての「餅つき大会」、フィリピンの学生への学資援助、チャリティバザー等々の活動をしています。

なお現時点ではまだほとんどのレオクラブが新年度を迎えたばかりですので、昨年11月にフィリピンのマニラで行われたLEO交歓会の報告文集より優秀な作品を5点選んでみましたので是非ご一読ください。また、いくつかのクラブからの報告も合わせてご覧頂ければ幸いです。

レオクラブの活動を支援することはそれ自体が意義ある青少年育成事業となります。皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

第36会OSEALフォーラム
(ライオンズクラブ国際協会東洋東南アジアフォーラム)
レオクラブ交歓会・報告より

日時：1997年11月27日～30日

FROM ライオンズ国際協会 333-C地区 LEO委員会 1998年8月20日 (水) 18:11 / 編18:11 / 発着93510899101 P. 1/1
The International Association of Lions Clubs
 Lions Clubs International #1
 300 22nd Street/Oak Brook, Illinois 60521-8842-USA (630) 571-5488
 1998年8月12日
 We Serve
 地区ガバナー
 キャンボット特等
 307-2
 砂村 理紗
 333複合地区協議会会長
 志田宗夫殿
 拝啓
 国際理事会に代わって、砂村理紗さんがベストレオ賞受賞者として選ばれたことをここに喜んでご連絡申し上げます。
 ベストレオ賞は、社会奉仕活動を通して優れたリーダーシップを発揮し、レオクラブ・プログラム及び地域社会の発展に貢献されたレオを表彰するアワードです。
 御褒へて、受賞者のお名前が選ばれたベストレオメダル及び表彰状を貴地区にお送り致しましたので、受賞者のために表彰式を行われ、これを贈呈頂ければ幸いです。
 残念ながら、規定により、賞額にかかる一切の経費はお支払い致し兼ねますのでご了承下さい。しかし、賞送付に遅延があった場合には、領収書又は関係文書を証明する書類を添付までお送り下さいれば、かかった額をご返戻致します。
 1997-98年度ベストレオ賞受賞者リストは、レオニュースレター「レオ・ワールド」及びライオン誌に掲載される予定です。
 砂村さんは、レオとして高い評価をいただきました。これからも益々のご成功を祈っている旨、お伝え頂ければ幸いです。
 敬具
 青少年プログラム課長
 ローゼマリア・オズガ
 Rosemary Ozga
 写: 大野 幸一 国際理事
 坂本一朗 1997-98年度333複合地区協議会会長
 久保田 晋平 1997-98年度333複合地区レオ委員長
 砂村一男 1997-98年度333-C地区レオ委員長
 吉川力一 銚子中央ライオンズクラブ会長
 砂村理紗 1997-98年度銚子中央ライオンズクラブ会長

Leo 529-A

ANDREW A. BROWN 1000 York St New York, NY 10018	BOB BROWN 1000 York St New York, NY 10018	JOHN J. BROWN 1000 York St New York, NY 10018	JOHN J. BROWN 1000 York St New York, NY 10018	JOHN J. BROWN 1000 York St New York, NY 10018	JOHN J. BROWN 1000 York St New York, NY 10018
JOHN J. BROWN 1000 York St New York, NY 10018	JOHN J. BROWN 1000 York St New York, NY 10018	JOHN J. BROWN 1000 York St New York, NY 10018	JOHN J. BROWN 1000 York St New York, NY 10018	JOHN J. BROWN 1000 York St New York, NY 10018	JOHN J. BROWN 1000 York St New York, NY 10018

砂村理紗レオの受賞を知らせる国際協会からの通知

- 場所：フィリピン、マニラ市
 参加：333-C地区LEO & 301-A II地区パサイ市レオクラブ
 引率ライオン：
 L. 砂村 一男
 (97～98年度地区LEO委員長)
 L. 有若 茂
 (97～98年度地区LEO委員)
 L. 岡田 真光
 (銚子中央LEO顧問、現地区委員長)

フィリピンという国に行って 楢グリーンレオクラブLeo.武田 佐喜子

今回、東洋東南アジアフォーラムに参加するため、フィリピンを訪問し、3泊4日という短い日程の中でフィリピンのレオクラブの方々を初めとしてたくさんの方と交流でき、またフィリピンの文化や歴史にふれることができました。これまで、フィリピンと日本との関係という、輸出国と輸入国という関係で、日本から商社マンが木材やバナナやナタデココ

を買い付けに行き、現地ではバナナ（外見は黄色いけれど中身は白人）と言われ、けっこう嫌われているというイメージしか持っていませんでした。

しかし、今回フィリピンのレオクラブとの交流でお世話になった西本神父のお話をうかがい、かつて日本を追われたハンセン病患者をフィリピン政府が快く受け入れたこと、戦災で焼失したマニラ大聖堂に当時、神奈川県知事の内山氏を中心とした「東南アジア善隣運動」がセメントと建設費の一部を寄付したことにより、とうていおよばないこととみなされていた日本の国連加盟を、フィリピン政府が推薦しそして承認されたということを知りました。このことにより、日本とフィリピンの国交の歴史とその深さを初めて知ることができました。そして、東南アジアの遠い南の国と思っていたフィリピンにとっても親近感を持ちました。



昼食をまじえたフィリピンのレオクラブとの交流会では、私が座ったテーブルは、医学生、コンピューターのエンジニアの勉強をしている学生、衛生検査技師と理科系の方が多く、驚きました。

フィリピンでは、電子メールがかなり普及しているらしく、うかがった話では、小さなオフィスであっても、オフィスに勤める人は個人のアドレスをオフィスにもっているそうです。フィリピンのレオクラブの方も電子メールを持っている方が多くアドレスを交換しました。これからも電子メールの交換を続けていきたいです。

フィリピンの人は、心が広く、とてもゆったりとした雰囲気をもっていました。そして陽気で相手をもてなすのがとても上手でした。気候が人の性格に及ぼすものは大きいんだと熱帯に生まれた彼らを羨ましく思いました。

このフィリピンの人の性格とは逆に、マニラの街はひどい交通渋滞で、空気はくもっていました。きれいなホテルやビルが立ち並ぶところもあれば、小さな住宅が密集したスラム街もあり、貧富の差は予想以上に大きかったです。マニラの街の交通渋滞は、他の発展途上国と同様にフィリピンが日本のような経済的に発展した国を目指していることの象徴のように思えました。

日本は確かに経済的には発展しています、しかし

日本が今、直面している経済のいきづまり、政治不信・無関心とフィリピンの貧富の差は実は共通の問題が根本にあるのではないかと思いました。3泊4日で色々発見し、知ることがありましたが、私はまたフィリピンのほんの一部しか分かっていないと思います。ぜひまた陽気な明るい国フィリピンへ行きたいです。

OSEAL フォーラムの感想

八千代東レオクラブ Leo. ラクスマン サヒ

第36回東洋東南アジアフォーラムに参加し、フィリピンへの旅としては短かったのですが新しい体験が出来ました。はっきり言ってマニラ市内だけでしたので、フィリピン全体のことを把握したわけではありませんが、けれども、なぜか懐かしかった。それは多分、同じアジアの国だからかも知れません。



リサール公園

建国の父、リサールの像の前で記念撮影

初日は日本の中古観光バスでのマニラ市内観光でした。天気も晴ればれで思ったほど暑くなかった。バスに乗っていて、自分が座っている前の席の後ろに書かれた日本語読みをみながら、自分が一つの異国からもう一つの異国に来ているのに気付きました。

外をずーっと見ていると日本製の中古車が沢山走っていました。フィリピンの経済も日本の新車が走れる状況ではないと思いました。しかし、日本では処理するのに困っている廃車が、フィリピンのような国が使用してくれるから、先進国にとってはそのような粗大ゴミの問題が解決できていると思いました。車が走っている道路の真ん中で人々がタバコや新聞などを売っていたり、方々の観光スポットで



レオクラブ交歓会にて
パサイ市レオクラブのみなさんと

みやげ物を買っていたりするのを見て、ちょっと強引と思いました。たいした金額の品物ではないのに人々が一生懸命にやっているのを見てすごいなあと思いました。マニラ市内にある公園で遊んでいた子供達は元気で生き生きしていました。日本では、そのようなことは、ほとんど見る事が出来ない。あらためて、豊かさは何なのかを考えさせられました。

三日目の現地のレオとの交流の時の神父さんの話を聞くと色々な意味でフィリピンは日本と歴史的な関係があることを初めて知って、今の平和な日本しか知らない私はびっくりしました。交流の時のマニラのレオ達との会話は、ほとんど英語だった。自分も久々に英語をしゃべったので緊張してしまいました。

異国の人と触れ合う時、言葉が一番大きな壁とよく言われます。しかし私の考えでは、言葉ではなくお互いに理解しようとする気持ちだと思います。お互いに尊重しながら本当の人間同士の付き合い方をすれば、言葉はそんなに重要ではないと思います。

このように考えるに至ったのは、現地のレオ会長と彼女のお母さんが夜の2時まで私たちに付き合ってくださいましたことからです。

フィリピンへ行って

富津レオクラブ Leo. 石井 幸恵

今回、アジアフォーラムに参加するために、フィリピンへ行くことができたことは、私にとって、とても大きな影響となり、また日本に帰って来てからは素晴らしい経験として私の心に深く残る思い出になりました。

私はフィリピンに行ってみて、改めて自分の目で見て歩いてみなければ、解らないことが沢山あると思いました、空港を出てすぐバスに乗って町を走りました。この時本当に海外に来たと初めて感じました。町も人も日本の風景とは全く違って、なんだか楽しくてずっと窓の外を見ていました。フィリピンでも渋滞が年々激しくなっていると、ガイドのリンダさんが言っているとおり道路は大渋滞でした。その渋滞で私達のバスも止まっていると、そ

の下へ、キーホルダーや操り人形などを持った男の人達が来て、「千円、千円」と言って物を売りに来ました。道路へ入って来て危険だし大変だなあと思いましたが、添乗員さんがこっちは千円あれば一週間は暮らせると言ったのを聞いて、一個で一週間なら大変ではないかとも思い直しました。この後も別の場所で、いろいろ売っている人を何度も見かけましたが、どの人も「千円千円」と言っているの、なんでみんな千円なんだろうと思いました。



ホテルでは、電話のベルの音の間隔が長いことや、フロントや買い物の時の会計がとてもゆっくりなことに驚きました。私は初め、慣れていない人なのだと思っていたら、行く先々でみんなゆっくりだと気づいて、国民性の違いというのはこんな所にも現われるんだなと思いました。そしてこれは添乗員さんに聞いたことをフィリピンのレオの方々に交歓会の時もう一度聞いたんですが、たとえば、7時に待ち合わせをすると、来るのはだいたい9時頃となるというのは、本当の話でした。今までのことを振り返ってすごく納得してしまいました。もし、フィリピンの人が、日本に来たらきっと最初は困ると思うとか、いらぬ心配をしてしまいました。

私がフィリピンで出会った人達は、みんな笑顔で、明るくて、交歓会の時も英語が話せず自分からきりだせなかった私に、沢山解りやすい質問をして話しかけてくれました。すごく嬉しくて、英語を初めて必要に感じて、そしてもっと話したいと思いました。日本にいるだけだったら、絶対に思わなかったと思います。

この三日間で、沢山の人や場所からいろいろな刺激を受けました。日本へ帰ってきて、フィリピンで出会った人達のことを思い出していると、少し自分



の周りの世界や視野が広がった気がします。これからも、この気持ちを大切に日常生活を送って行きたいと思います。

良い刺激になったフィリピン・レオとの交流、

船橋中央レオクラブ Leo. 下川 栄次郎

フィリピンに行く前は、青い空、白い雲、白い砂浜のヤシの木陰でのんびり昼寝、とっていたら、マニラに着いたとたん、「なんだこりゃ。日本と変わらないじゃないか。」

都市化と交通渋滞、特に車は車検が無いせいから、車、車、車の山で高度経済成長まっただ中といったところであった。現地レオとの交歓会では、小学生から大学生までのレオと親しく交流の時を持つことが出来たが、現地の学生たちは、とても純粋で生き生きとしていて、自分が学生だった頃と比べて日本の学生とフィリピンの学生は、こうも違うものかと考えさせられた。学校をとりまく環境は、ずっと私達の方が良い環境の中にいるのに、私達は自分の幸せに気付かぬまま無駄に時間を過ごしていたような、そんな後悔に似た気持ちになった。良い勉強になったというより、良い刺激になりました。

現在の日本の教育に疑問を事じている私は、学校はなんの為にあるか、今の塾、塾、塾の世の中で、日本の子供達は幸せなのか、今まで答えを見い出せていなかったが、フィリピンの自然とともに生きる子供達を見ていたら、何だか解ってきたような気がした。

3泊4日という短い期間でしたが、今回は沢山の体験をさせていただきました。一般庶民の中に入って共に生活出来なかったのは残念ですが、「貧から富まで」の世界を一人で行ったらとても経験出来ないようなことを経験出来ました。遠く離れてはいるけれど、同じ地球上に頑張っている仲間がいる。彼らに負けずに私は日本で頑張っていこうと思います。

本当の豊かさとは何だろうか

松戸南レオクラブLeo. 柳沢 淳一

日本からわずか飛行機で4時間あまり、そして南方で国境を接している隣国フィリピン。しかし、この国について知っていることはあまりありません

した。確かに新聞などでは、彼らの出稼ぎの問題が報じられることもあります。かつてピナツボの噴火で多くの方が、また国土が被害を受けたことがあるくらいは知っていました。また、経済的には発展途上の国であり、アジアの昨今の急速な経済発展の中では、どちらかといえば遅れをとっている方に分類される国であるとは思っていませんでした。しかし自ら関心を払って、この国のことを知ろうという事はほとんどありませんでした。



海外へ行くと、日本にいた時に持っていたイメージと違うということはよくあることですが、この国も例外ではありませんでした。整然と建っているビル群、綺麗な国際会議場、車の多さ、また空の青さ、港に沈む夕日の美しさ、深夜でもコンビニに行ける治安の良さ。どれも日本を発つ前には考えられなかった事でした。そして何よりも感動的だったのは、フィリピン人の心の美しさではないでしょうか。公園で遊んでいる幼稚園児も、町中の建築現場で働いている人も、パサイのレオのメンバーも、同じ目の輝きを持って、生き生きとしているのではないでしょうか。日本では、年齢を重ねる毎に、この目の輝きは失われていくことが多いようですが、この

国ではそれがあまりないように思いました。

経済的には日本の方がはるかに優位であることには間違いないでしょう。しかし、日々一生懸命生活しながらも、人として人間らしく暮らしているのはフィリピンの方ではないでしょうか。つまり心は日本人よりも満たされているのではないかと思います。

我々と知りあったのはライオンズ関係者という事もあり、フィリピン国内でも比較的上流階級の人であると思われます。そしてその彼らは、我々を熱烈に歓迎してくれました。彼らは夜遅くまで遠方より来た隣人を、彼らが気の済むまで、我々のことを気遣いながらもてなしてくれました。これは彼らが上流階級でお金があるからではなく、人として隣人を大切にしようという考えからではないでしょうか。日本人ならここまでの歓迎はしないであろう。まして都会に住んでいるならなおさら淡泊であろう。しかしこの考え方は、欧米のそれとは異なるので、ある意味では共通の考え方、文化を持っているとも思えます。同じアジア、ましてや隣国。経済的には我々は豊かでも、本当の意味での豊かさは彼らの方が上ではないかと思った、フィリピンのマニラでの4日間の滞在でした。

1998-1999年度								
333-C地区 役員名簿								
	役職	Leo名		所属クラブ				
	会長	岡田 早代		銚子中央				
	幹事	岡田 友宏		銚子中央				
	会計	砂村 理紗		銚子中央				
333-C地区 レオクラブ 三役名簿								
R	Z	クラブ名	レオクラブ顧問	会長	幹事	会計		
2	1	松戸南	飯沼 正敏	宇野 一重	上田佳代子	後藤 育江		
3	1	印西	鈴木 忠雄	逸見 忠利	川村 英正	川口 奈穂		
3	2	柏グリーン	辻 松夫	山本かおり	田中 里美	助川 忠弘		
4	1	船橋中央	田嶋 伯夫	遠藤 隆恵	中鉢 真輔	野田 祐郎		
4	3	八千代東	立田 幸雄	立田 直人	船越 文徳	桑原 千尋		
5	1	千葉中央	矢田 常吉	鈴木 一美	大溝 里美	橋本 祥子		
7	1	銚子中央	砂村 一男	大川 武輝	明石 和也	富岡 裕司		
8	2	富津	岡村 理	牧野紗千代	牧野 準主	大嵩めぐみ		
8	2	君津	斉藤 満生	刈込 菊江	河村由紀子	正木 康子		

3R-2Z 柏グリーンレオクラブ

猛暑の中でレオチャリティバザー

日時 1998年7月25日、26日
場所 柏西口高島屋前

梅雨明けが待たれる酷暑の7月25日(土)26日(日)の2日間、午後2時から6時まで、柏まつりレオクラブチャリティバザーを柏駅西口高島屋前で行われた。このバザーは毎年柏おどりで賑わう会場内で、親クラブ柏グリーンライオンズクラブのメンバーから、

食料品/缶ビール、缶ジュース、ワイン、酒、調味料、油、そうめん、コーヒー、
日用雑貨/タオル、バスタオル、シーツ、布団、傘、ネクタイ、ベルト、シューズ、バッグ、石けん、洗剤、
食器類/グラス、小鉢セット、皿、鍋、コーヒーカップ、
貴金展覧/時計、カメラ、ネックレス、その他、キャラクター商品、すず虫

などバラエティーに富んだ品物1,005点の出品を頂きました。販売価格は、標準価格の1/2~1/3の安さで販売され、初日でほとんどの品が売れ、追加出品の協力を要請した程でした。また、メンバーやお



客様がお気軽に休憩できるコーナーを設け、冷たいビール、ジュースなどをふるまいました。勿論、チャリティーボックスの用意もさせて頂きました。

この2日間の収益金195,880円は、盲導犬施設財団法人アイメイト協会へ募金及び市内老人ホーム、障害児施設への奉仕活動資金と、来年10周年記念を迎える事業資金などに使わせて頂きます。

経済不況で昨年よりも1/3少ない出品数にもかかわらず、親クラブからの温かい激励を頂きながら、レオのメンバーが地域社会において奉仕をする機会をあたえ、経験を学びとり、指導力を養うことが親クラブの役割だと思います。今後も機会があれば継続して行ないます。(レオ・YE 青少年健全育成委員会顧問 L.辻 松夫)

4R-3Z 八千代東レオクラブ

国際交流バザー

日時 1998年8月22日、23日
場所 勝田台駅前通り

八千代東レオクラブは、結成して3年目に成ります。私達の住む八千代市も近年、外国人を多く見受けようになりました。急速にすすむ国際化を目前にして私達は、青少年をいかに健全に育成するか、その一助として何かアクションを起こそうとして、レオクラブをEXTすることになりました。

幸にして我が八千代市には、国際大学がありますのでその留学生に呼びかけて、八千代東レオクラブを結成いたしました。現在会員数は28名で、内8名の外国青年が在籍しております。

八千代東レオクラブのメンバーは、国際交流をとおして異文化を理解し、広く世界に通じる人格を養



うことを目的に活動しております。その一環として今年も国際フォーラムを開催し、外国青年による日本語弁論大会と、外国青年を交えての討論会、そして国際交流パーティーを行うための準備にかかっております。

国際交流バザーもその手段の一つとして行います、今年も8月22・23日に市内の勝田台駅前通り夏祭りで行いました。このバザーは、近隣に在住する外国人の日本での生活が、少しでも快適なものであるようにとの思いから始めました。ライオンズ会員・レオ会員からの拠出品を、安く提供することに

より、暮らしの一助となれば良いとの思いと、その場での触れ合いからコミュニケーションが図られる事を目的にしております。

レオクラブはその成果を糧として、国際フォーラムを企画し活動しております。



オピニオンのページ

「ライオンズクラブはジェントルマン(紳士)の集団。だから、人のやったことは批判してはいけない」といわれると「なるほどそうか」と思う。「みんなの合意を得て満場一致で可決」というと素晴らしいことのように聞こえる。でも、それでいいのだろうか？

「ジェントルマンが人を批判するのは良くない」という部分には賛成だ。しかし、実行したことを総括し、うまくいかなかった点を分析する事は必要で、それがなければ進歩がない。ところが日本人は客観的な議論が苦手なので、すぐ「あいつの責任だ。出過ぎたことをするからだ。ざまあみろ」になってしまう。

一方、「満場一致」「シャンシャン」では細部についての議論が行われず、内容が十分には伝わらない。そして、全員の合意を得た時点で議決に参加した人全員の責任になり、「誰が」責任者なのかがボケてしまう。

「赤信号、みんなで渡れば怖くない」はきわめて日本的で「誰の責任か」わからなくなり安心できる効果がある。例えば破綻した金融機関でも「みんなで決めた」から誰(個人)の責任かを問われることはない。しかし、その結果破綻しているし、赤信号をみんなで渡っても大型トラックにつっこまれば、全員で死亡するので安全ではない。

大事なのは「ルールを守って一方的な批判でない議論をすること」だと思う。

ここ数年、333-C地区でも活発な議論が持たれるようになってきた。そこで、地区ニュースでも「オピニオンのページ」を設けて、地区に対する提案をしていただくことにした。建設的なご意見をドシ



ドシお寄せいただければ幸いです。ただし、ぜひとも「紳士ルール」を忘れないでいただきたい。

【提案】

時は今、クラブ統廃合のチャンス

4R1Z 船橋LC

L.小西 宗仁

◎進歩は変化の要素

予測をはるかに超えた景況感の低迷の中で昨今の単一クラブの活動の実相は『誇り高き過去』に拘泥してはいるものの『明るい未来』への呼びかけにも反応は乏しく、例会の議題の俎上には運営の簡素化や合理化が掲げられアクティビティに対する勢いが感じられない。先頃行われた準地区、複合地区大会

においても組織と運営の簡素化合理化がテーマとして声高に論じられている。

新年度に入り会員ドロップが増加し新執行部は慰留、説得に奔走する。業績不振による倒産や企業の合理化による退会が目立つ。会費の納入の遅滞、滞納もこの数年増加の傾向にある。慚愧に耐えぬことは公務に真摯に努力され奉仕活動に熱心に汗したメンバーが不本意乍ら退会届けを出されたときに慰留する言葉もないことだ。

◎明るい未来へ英断の時

この厳しい景気動向にも屈せず臆せず、創意工夫によって地道ながら例会皆出席のメンバーや『我は不況に無縁』と悠揚至福なメンバーから『不況とはいえ会費も払えぬメンバーは資格なし』と断言する。確かにライオンズメンバーである以上、例会出席と速やかな会費納入、クラブ活動への参加は最低限の責務であることは自明の理。

しかしわが地区内の実態を直視するとクラブ数は年々増加した反面、多くの貴重なメンバーがドロップしている。このことが直ちに不況が原因とは断定できぬが、退会理由はクラブへの不満や挫折感ではなく、生活の再構築や仕事に専念せざるを得ないのが実状のようだ。



◎意力あるライオンズマンを

これらの動向に相も変わらず新クラブ拡大に昼夜奔走する地区の執行部に対して批判や非難ではなく疑問を抱くのは私一人だけであろうか。

数年前から準地区、複合の大会の分科会でクラブの運営費の削減や見直しが論じられ、事務局の合理化でメンバーの会費負担の軽減が声高に論じられた事実経過はごく一部を除けば底辺まで浸透されぬままに放置されている。

時は今。今こそ地区内クラブ代表が一堂に集い今後のライオンズクラブの方向性について徹底的に議論を交え、再活性化への道づけを模索すべき時ではなからうか。会して議せず、議して決せずの地区大会分科会にはそろそろ見切りをつけるべきとの声を無にせぬためにも、暴論と痛罵されることを覚悟して私が提起したいことは



- 1) 新クラブ結成は他地域内の実態を迅速に情報収集して凍結も考慮する。
- 2) 少数弱体したクラブや大勢のメンバー数を抱えながら長期欠席の休眠メンバーの多いクラブを統廃合する。

因みに私の所属する地域は50有余万人の補完都市でシニアを含めると9クラブあり、更に新しいクラブをエクステンションすることは無謀と思う。

近時これがライオンズマンかと品性の欠落した一部のメンバーに対して不快感を隠さない一般市民の厳しい批判の出る中で、改めてライオンズマンとは何か問直したい。声望ある成年として、すべてえられた人だけで構成されるはずだ。クラブが選んだ人でなければ会員にはなれず善良な特性の持ち主であることが条件である。増員に識別の目も甘くなり調査や手続きが杜撰に省略されていることも事実で因果応報とも思える。

大きく変化する世相や世代の格差を認識し、運営の方法や事業への方策にも新しい視点が希求される。常にフレッシュな感覚で奉仕活動を考究し実践させるにはクラブの合併や吸収の統廃合が容認されることが希ましい。

時として異色なメンバーとの出会いがマンネリを打破しよう。クラブ内を再活性化させ蘇生させることで新しいクラブライフが実現されよう。変化は進化の要素と説いた先達ライオンの遺訓を今こそ活かしてゆきたい。希わくば学問を好み、真理を熱愛し、謙虚にして反省に富み、進んで社会に奉仕し、艱難に屈しない意力あるライオンズマンとして社会から尊敬を集め親しまれるためにも。(完) 仁恕

バーミンガム国際大会報告

イギリス・バーミンガム国際大会に参加して

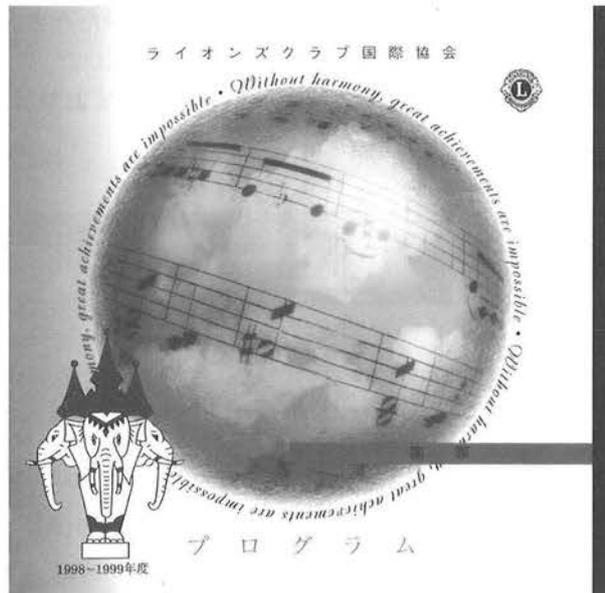
地区会員大会参加委員長
四街道LC L楠岡 巖

イギリスにライオンズクラブが誕生して49年。この国で初めての大会となる第81回国際大会は、首都ロンドンの北170キロのバーミンガムにおいて、1998年6月30日から7月3日まで開催された。その公式記録はライオン誌8月号に掲載されているが、私は自分の行動を日記風に主観的に記録してみた。長文になってしまったが国際大会にまだ参加したことのないメンバーの皆さんの参考になればと思う。

6月30日午前10時、国立インドア・アリーナから国際コンベンションセンターまでの1キロ半のコースをカラフルな衣装と軽やかなバンドマーチが続く中、日本のライオン仲間は63番目の行進だった。大野元昭国際理事候補の地元埼玉から参加した「和光太鼓」にひととき大きな拍手が起こった。

現地は緯度が高いために、夏期だというのに気温は摂氏9度足らずで、私たち日本組は皆震えあがり、特にアフリカ諸国のライオンたちは革のジャンパーを着込んでのパレードとなった。

12時30分、パレードの終了後、私が所属する四街道LCの新年度最初の7月第1例会が7月1日に開催されるので、会長からクラブの仲間にバーミンガム市内やパレード等の様子を伝えてもらえるよ



う簡単にまとめてFAXで四街道へ送信した。

7月1日、市の中心部から30分程に位置するNECホールで開会式が開かれる。国際大会に初めて参加した330-B地区のメンバーを誘って早めに会場に到着。おかげで同時通訳を聞くためのユニットを確保することが出来てホッとした。数が限られていて入手困難であるが、これがないと何がなんだかかわからず、どうする事もできない。

パターソン国際会長は1997年10月8日のライオンズデーをライオンズクラブに入会する日と決め、実際に2万995名の新しいライオンが入会され、795のクラブが誕生した。また、LCIFのMJF（メルビンジョーンズフェロー）には、6千名が千ドル献金を行い、MJFが累計で16万4千人となった。メンバー全員が千ドル献金されたクラブは世界で8クラブあり、日本でも京都と大阪の2クラブがパターソン国際会長から表彰された。

今大会では、ライオンズクラブ国際協会の世界平和ポスターコンテストに入賞した10名と家族や友人が協会に招かれ表彰された。その中で1991年に日本の335-D地区三木中央ライオンズクラブのスポンサーで平和ポスター展に参加して最優秀賞を受賞された中島美紀さんも招かれて表彰された。

この日の午後、展示ブースでサイン会が開かれるとの情報を得てブースを訪ね、作品の複製を6ポンドで求めた。美紀さんは6年生の時受賞され現在は大学1年生。今回は付き添いのお母さんと一緒にいられていたが、お母さんに感想を聞くと次のように

話された。「今回の表彰でこちらにお招きいただき、おかげさまで美紀も考えがだいぶ変わりました。これから英語を一生懸命に勉強したいと申ししております。」

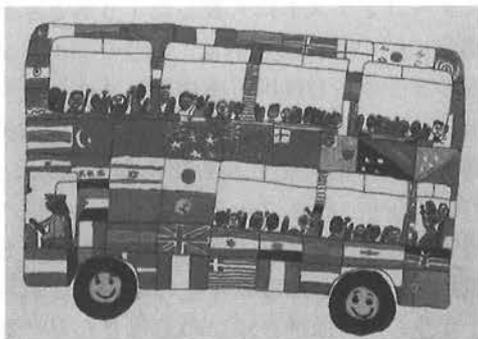
国際平和ポスター
コンテスト
入賞作品



カムフング・ロー
(香港)

私が「ご主人はライオンズクラブのメンバーですか?」とお聞きしたところそうではないそうでしたので、「是非入会されるといいですね」とお話しした。するとお母さんは「忙しい人ですから」といわれたので、「それならお母さんが入れられたらいいですね、今女性のメンバーがたくさん活躍されていますから」とライオンズクラブの近況をお話ししてお勧めした。このことは帰国後三木中央LCの藤田晃巳会長に連絡しておいた。また中島美紀さんにサインしていただいた絵は7月末の第1回キャビネット会議の会場に展示した。また、ポスターコンテストの作品キットの申込書と葉を持ち帰ったのでキャビネット会議でみなさんに差し上げ呼びかけた。

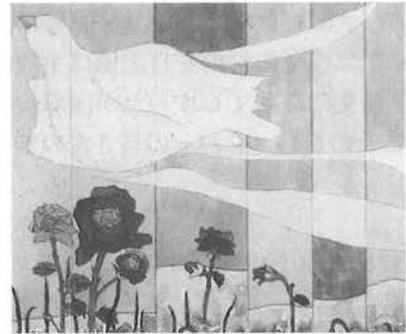
第2日目はアメリカ前大統領のジョージ・ブッシュ氏を迎えての講演会があったが、私たちはカンタベリ城やドーバー海峡、リーズ城のツアーに参加したためにどんなお話をされたかお伝えできないのが残念だ。



トビー・ラングレー (英国)

7月3日は午前7時から投票と閉会式が行われた。閉会式では食糧不足で飢えている北朝鮮の子どもたちを助けるために韓国で集めた10万ドルが女性ガバナーから国際会長に手渡され、パターソン国際会長から感謝状が贈られた。国際協会ではLCIFから10万ドルを拠出し韓国の10万ドルと合わせて合計20万ドルを北朝鮮に贈るそうだ。また、レオクラブが出来て40年だそうでレオクラブの代表に記念のレオ旗が贈呈された。

人道主義大賞には米国ニューヨーク州の女性のお医者さんマタヒ博士が選ばれた。表彰式の中でマタヒ博士が「どこの国であっても可哀想な人がいれば行って活動しています。世界では多くの悲しい事態



ムスタファ・タホージク (レバノン)

が生じています。例えば今年一年間で300万人がエイズに感染し、その死亡率はアメリカが一番でした。他にもたくさんの困っている人がいますが、みなさん、どうか特に食料がなくて困っている世界の子どもたちを助けてください」と訴えられると会場はいつまでも大きな拍手に包まれていた。パターソン国際会長から人道主義大賞の賞金20万ドルの小切手が渡されると博士は「私が現在ケニアに建設中の小児科病院を完成させるために使わせていただきます」とお礼の言葉を述べられた。

国際平和ポスターコンテストのテーマは「ハーモニーのある世界平和」。世界の子どもの言葉は違っても、描いた絵は世界平和を願って書いてくれた絵。第11回の入賞者はペルーの13歳のこどもさんで30万点の応募作品の中から選ばれた。

今年度、世界青年会議所とライオンズクラブ国際協会は協定を結んだので会議所の会頭が出席され紹介を受けていた。

ここまで進行したところでミシシッピー35地区のダグラス・クロス委員長から「パターソン会長は一年間よく活動した」とご褒美にキーが贈られた。それが会長の大好きな自動車のカギであることがわ



アニタ・バラレゾ (ペルー)

かり会長は大喜び。会場は大受けだった。

会場が静まるとパターソン会長から「国際協会の未来に貢献してくれる人を紹介しましょう」とアナウンスがあった。ちょうど11時から大きな楽隊とプラカード、タイ国の国旗を振る人々に先導されてハバナナダ新会長は笑顔で両手を大きく振って会場内を一周され、2万人の参加者の拍手や声援に応えられた。

壇上に戻られた新会長を紹介されたのは90歳になられたお父さんであった。言葉に詰まる父を励ます新会長の姿に会場からあたたかい拍手が送られた。「いつまでも子どもと思っていたがよくここまで成長してくれた。ライオンズクラブのことを実によくやってくれた」と涙を押さえながらのお話であった。

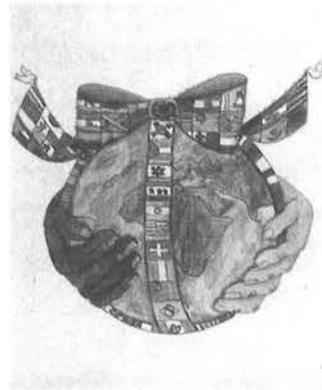
カジット・ハバナナダ新国際会長の就任演説。「私は近い将来、ライオンズクラブが一つの家族に



ニケンアユ・マルチ (インドネシア)

なるだろうという夢を抱いております。全世界の多くの人たちが私たちの大目的を理解してくれるというのが私のビジョンであります。私の夢、私たちの夢の実現に手を貸してください。これから新しい友人をつくり、ライオンズ家族の一員としてより一層互いに理解し、仲間との調和を深める努力を始めましょう。『ウイサーブ』はライオンズクラブのモットーです。地域への奉仕がクラブの最大関心事の一つであることを思い起こし、地域へのアクティビティに専念努力し、奉仕を提供し続けましょう。『ハーモニー』のないところには達成は絶対にないと肝に銘じてください」

新会長は81-82年度京都ライオンズクラブから出られた故村上薫元国際会長に続いて東洋東南アジア地域20万人の中から2人目の国際会長だ。



アン・デシャンプス (米国)

演説が終わるとパターソン国際会長から国際協会の旗がハバナナダ新会長に手渡され、ハバナナダ新会長からソリバー前会長に感謝状と記念品が贈られた。

最後に4日間つけられていたガバナーエレクトのリボンをそれぞれのガバナーに取っていただき、新年度の地区ガバナー750名が誕生した。新ガバナーは周りの新ガバナーと堅い握手をして来年のサンディエゴでの再会を誓い合い、大会は無事終了した。

第82回国際大会は米国カリフォルニア州サンディエゴにて開催される。

パレードではハンガリーのブダペストLCの元ガバナー、ギョオリイLに会う。また大会会場では元国際理事の菊地伸二Lや松原文弥Lなど多くのライオンに会うことができ、来年の再会を誓い合った。

少年ナイフ問題に光明 伊勢南
ロータリークラブの取り組みに学ぶ

企画編集：PR情報委員会
取材協力：L 楠岡 巖(四街道LC)

昨年来全国各地で中学生などがナイフで殺傷事件を起こして新たな社会問題としてクローズアップされている。三重県松阪市立久保中学校で生徒が友人をナイフで刺す事件、続いて栃木県の学校でも女性教師がナイフで刺殺される痛ましい事件も起きた。テレビや雑誌、マンガなどの影響かいつの間にか子供たちがファッション感覚でナイフを持ち歩くようになり、昨年下半年には普段の数倍のナイフが衝動買いされた。

その影響は学校の教師の子供に対する姿勢に影響したばかりでなく、これまで子供たちには「怖い存在」だった少年補導員などの盛り場での補導を文字通り「命がけ」にしてしまい、思うように補導や指導をできない状況になっている。



そんな中で7月17日の日本テレビ「ズームイン朝」が紹介した伊勢南ロータリークラブの取り組みは大きな成果を挙げつつあり、注目に値すると考え、四街道LCの楠岡巖Lに取材協力をお願いしたところ、貴重な情報を入手してくださったので紹介したい。

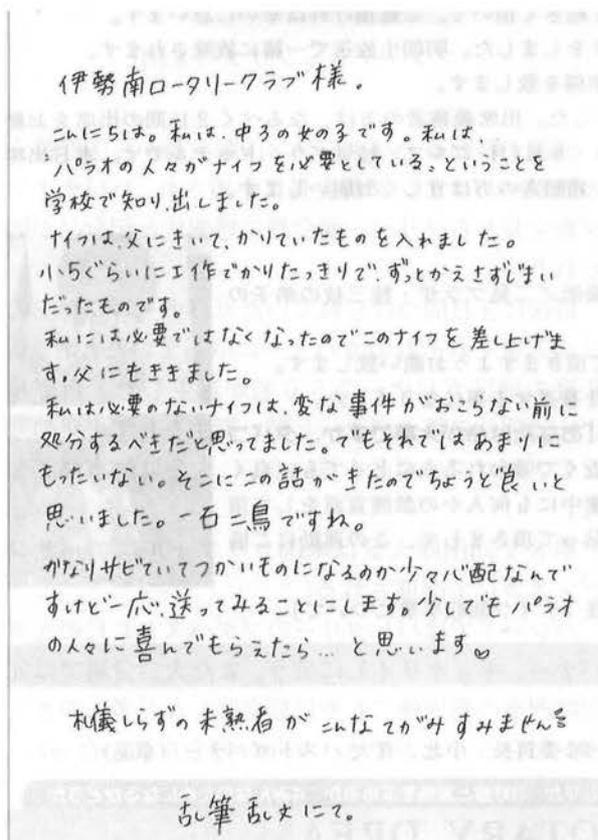
「子供たちが必要のないナイフを手放し、それを回収して、何かの役に立てたい。」「子供たちから取り上げるのではなく、ボランティア精神を目覚めさせて unnecessary ナイフを寄付してもらう方法はないか」と思案した伊勢南RCでは、ナイフを生活必需品としているパラオ共和国にナイフを集めて贈るキャンペーンを考え出した。

パラオ共和国のナカムラ大統領の父(故人)は伊勢市の出身で大正7年にパラオに渡ったことや三重県とパラオが友好関係にあること。現地では魚を料理したり、果物を採ったり、木工細工をすることなどナイフは生活に欠かせないが、国内に鉄鋼生産の産業がないため、ナイフの調達をすべて高価な輸入品に頼っている。

そこにナイフを贈れば、少年たちの「非行防止」「ボランティア体験」「ナイフが本来人間が生活するための大切な道具であることを理解してもらうこと」につながり、同時に現地の人たちの生活に役立つことができる。

そこで伊勢南RCでは伊勢市近隣の中学高校30校に15,500部の「パラオの人々がナイフを必要としています」というリーフレット(次ページ参照)と料金受取人払いのナイフ回収専用封筒を配布した。

すると最初の10日間で112本、2週間目には160本、1ヶ月目には250本余りのナイフが寄せられたという。中には手紙の添えられたものも



ナイフに同封されていた手紙

あって、子供たち自身もナイフ問題に不安を感じていて「これはちょうどよい企画だ」と思ったことなどを教えてくれている。

また、テレビに登場したナイフを贈った中学生などは「ナイフは必要なかったがみんなが持っているのでただ何となく持っていた。これを機会にもうナイフは持ちません」と述べるなどこの事業の意図は十分に達成されているようだ。

同RCでは集まったナイフを8月末にパラオ政府に届ける予定であるが、ナイフはやはり危険な刃物であるので、通常の場合、税関で特別な手配をしても一度に国外に持ち出せる量は50本程度だそうで、来年はじめにも水産高校の実習船に運んでもらう予定ということだ。その際は高校生の手で直接パラオ政府に贈呈してもらおうと事業の効果が一層高ま

ると期待されている。

伊勢南RCの事業の成果にはロータリー、ライオンズ、青年会議所といった枠組みにこだわらずに社会全体で学び取り組みたいものだ。

ただし今回の企画では子供たちが「気持ちよく自主的に奉仕する」ための仕掛けだった点が受け入れられたのであって、この力加減こそが子供たちの心を開いたカギであることを忘れてはならないだろう。

また、これまで「補導」というと大人が子供を捕まえる「補導」のイメージが強かったが、伊勢南RCの事業はこれまで学校も親も警察もできなかった部分を「補い導く」本来の意味での「補導のあり方」を教えてくれていると言えるだろう。

パラオの人々がナイフを必要としています。

この国の人々は、職を失ったり、病気になったり、生活が苦しくなったりして、ナイフを必要とする。しかし、パラオの人々は、ナイフを必要とする。しかし、パラオの人々は、ナイフを必要とする。しかし、パラオの人々は、ナイフを必要とする。

これまで、伊勢南ロータリークラブではパラオにナイフを贈るため、このボランティア活動を展開してきた。自分たちが持っているナイフは、多くの人々を苦しめている。ナイフを必要とする。しかし、パラオの人々は、ナイフを必要とする。しかし、パラオの人々は、ナイフを必要とする。

一緒に配布させて頂いたリーフレットにナイフを入れ、切手を貼る。すぐにポストに入れて下さい。

伊勢南ロータリークラブ TEL 0596-28-2560

協賛 三重県教育委員会・伊勢市教育委員会

伊勢市公共職労本部
Kuriko Nakamura
ナカムラ大輔の父は伊勢市
生まれで、大正7年に19才
に渡りました。

伊勢市内の中学高校に15,500枚配布されたリーフレット（A4サイズ）



資料のページ

一般会計予算書

(1998.7.1 ~ 1999.6.30)

収入の部

単位：円

科 目	予 算 額	前年度決算額	備 考
前年度繰越金	9,254,544	7,365,094	
地区会費	28,683,600	30,096,000	6月末会員 4,346人
地区特別運営費	5,215,200	5,472,000	
地区ニュース負担金	5,215,200	5,428,800	
雑収入	700,000	694,958	
合 計	49,068,544	49,056,852	

支出の部

科 目	予 算 額	前年度決算額	前年度決算額
ガバナー費	2,000,000	11,742,847	公式訪問、ガバナー会議、国際関係、複合地区関係、他
会議費	4,700,000	3,601,911	CAB会議1回、名誉顧問会議、RC-ZC会議、財務会計監査、内局会議、他
地区委員会費	1,200,000	815,767	LEO、LS委員会費、他
贈呈費	2,500,000	2,739,544	バナー、バッジ、ゴング、バーストバッジ、構成員記念品、結成記念品、他
研修費	3,200,000	2,495,000	RC、ZC、PR委員への助成金、新LC結成助成金
広報費	7,600,000	7,328,730	地区ニュース印刷代、発送費、会議費、取材費、他
旅費交通費	2,300,000	2,081,918	CAB会議、MD会議、国際関係、他
人件費	9,500,000	8,165,854	職員3名の給料、賞与、諸手当、中退金掛金、通勤手当、他
福利厚生費	1,100,000	1,010,558	雇用保険、他
通信費	1,500,000	1,277,889	諸通信費用、電話料金
印刷費	2,800,000	2,759,021	CAB会議資料、その他の印刷物
事務所費	2,100,000	2,088,576	事務所賃貸料、共益費、駐車料
光熱費	160,000	166,461	電気、ガス、水道の使用料
什器備品費	160,000	87,896	少額物品費（事務用品以外）
リース費	950,000	926,041	ワープロ、FAX、コピー、印刷費、保守料
事務用品費	700,000	615,440	事務用消耗品費、コピーチャージ
慶弔交際費	1,100,000	860,000	CN、周年行事の祝金、慶弔費、他
分担費	550,000	544,020	10円×12ヶ月×会員数（MD333）
雑費	800,000	494,935	その他上記の科目に属さない少額な費用、胸章
予備費	4,148,544	0	
小 計	44,920,000	39,802,308	
次年度繰越金	—	9,254,544	
合 計	49,068,544	49,056,852	

青少年育成資金会計予算書

(1998.7.1 ~ 1999.6.30)

収入の部

単位：円

科 目	予算額	前年度決算額	備 考
前年度繰越金	7,976,988	5,776,018	
青少年育成資金	8,692,000	9,056,000	6月末会員数 4,346人
雑収入	0	0	
合計	16,668,988	14,832,018	

支出の部

科 目	予算額	前年度決算額	備 考
1. 青少年関係	2,500,000	1,558,610	
青少年育成費	1,000,000	41,000	各種青少年等の協力金
青少年弁論大会	500,000	551,159	333-C地区・千葉県高等学校弁論大会
サマーキャンプ	1,000,000	966,451	Y E ・ L E O 青少年合同サマーキャンプ
2. レオクラブ関係	2,300,000	3,108,627	
レオクラブ助成金	1,000,000	1,760,000	新クラブ結成助成金、既存クラブ運営助成金
レオクラブ研修会費	1,200,000	1,248,627	春期研修会
委員会費	100,000	100,000	会議費、調査費等
3. Y E 関係	2,800,000	2,141,590	
派遣生助成金	600,000	421,960	
派遣受け入れオリエンテーション	1,200,000	1,187,078	含冬季来日生歓迎会及び研修
ホストファミリー研修助成金	350,000	382,346	
Y E ・ O B 会議関係	50,000	53,890	
情報交換	200,000	0	
委員会費	300,000	96,316	
国際接待費	100,000	0	
4. 雑費	100,000	46,230	
予備費	8,968,988	0	
小計	7,700,000	6,855,030	
次年度繰越金	—	7,976,988	
合計	16,668,988	14,832,018	

編集後記

今年度最初の地区ニュース。当初10月8日の活動に間に合うように9月15日の発行が目標だったが、キャンペーンの準備等に追われ結果として大幅に遅れてしまい申し訳もない。

今回の地区ニュースの目指したものは「皆さんに読んでいただけること」。紙質、文字の書体・大きさ・改行、カットやマーク、LC関連のイラストなどや、装丁の簡素化で表紙から記事を並べ、各項目ごとに前文（リード）を設けるなど出来る限りの工夫をしたつもりだ。内容も特集と地区関連記事にウエートを置き、挨拶等は出来る限り割愛させていただいた。

今年の各RのPR情報委員は委員会を挙げて「リジョン・チェアマンのカバン持ち」のレッテルを返上しようという頑張った。決してRCに対してクーデターを起こそうという訳ではない。「やるからには自分たちの手で思い出に残るものをつくろう」という呼びかけに見事に応えてくださった。

この地区ニュースには地区PR情報委員会以外からも多くのご協力を頂いた。まず四街道LCの楠岡巖L。少年ナイフ問題の取材、国際大会関連の出版物多数の提供等で絶大なバックアップをいただいた。また、君津LCの杉浦明地区名誉顧問と正木守L。

PRと事業のバランスについて貴重なご投稿を寄せてくださった。ライオネスのページでは柏LSCの小菅あけみLS（地区LS委員長補佐）。レオのページでは銚子中央LCの岡田真光L（地区LEO委員長）にそれぞれの企画編集をお願いした。市川LCの渡辺誠之Lにはご多忙の中全文の校正作業にご協力いただいた。皆さんに心よりの感謝を申し上げたい。（L吉原記）

次号「特集」予告

- * 10月8日地区統一テーマ活動の記録
- * YE、OB会の活性化と記念誌の制作
- * キャビネットの組織とその役割についての研究
- * 地区青少年育成資金・千葉県青少年育成基金等地区会計の研究
- * 年次大会を考える

「オピニオンのページ」ご投稿のお願い

- * 統一テーマ活動について
- * 年次大会への提案

目次

ガバナーからのメッセージ

地区ガバナー L. 笹本 瞭

ご挨拶、国際会長の年間テーマ

ガバナー方針（運営目標）..... 1

巻頭特集

333-C地区 統一テーマ活動

「子どもたちを薬物乱用から守ろう
キャンペーン」の目指すもの

3委員会合同の企画立案、活動の

目的、活動の骨子..... 4

事前検証

「21世紀に向けた新しいライオンズ
クラブづくりのために」

「君津クリーン運動」を成功させるまでの足跡

L. 正木 守..... 8

特別寄稿 「若さこそ貴し」

地区名誉顧問 L. 杉浦 明..... 9

青少年薬物乱用防止研究会 開催..... 10

ライオンズインフォメーションのページ..... 11

ご挨拶..... 13

リジョン・チェアマン今年度の方針、抱負..... 15

地区委員会年間活動方針..... 19

視力ファーストのページ

視力ファースト（広義のアイヘルス）

333-C地区・視力ファースト講演会開催..... 30

クラブ活動のページ

1R~10R各クラブ..... 33

ライオネスのページ L.S. 小菅あけみ..... 49

レオのページ L. 岡田 真光..... 53

オピニオンのページ L. 小西 宗仁..... 59

巻末特集

バーミンガム国際大会 報告

L. 楠岡 巖..... 61

少年ナイフ問題に光明

「伊勢南口ロータリークラブの取り組み」に学ぶ..... 64

資料のページ..... 66

目次・編集後記..... 68

ライオンズクラブ国際協会

333-C地区ニュース Vol. 1

発行日 1998年10月8日

発行者 ライオンズクラブ国際協会 333-C地区
地区ガバナー L. 笹本 瞭

〒260-0025 千葉市中央区問屋町1番55号

TEL 043-243-2528 FAX 043-247-4756

編集者 ◎L 関口博之 ◎L 吉原稔貴 ◎L 長谷川肇
◎L 根岸直己 ◎L 千本芳秀

印刷所 文陽堂印刷紙工株式会社 tel. 047-325-1611
(レイアウト 倉本忠幸)